取扱説明書

マイクロコンポーネント MD システム

型名 UX-Z2 -B/-S

デモ表示について（初めてお使いになるとき）

本機にはデモ表示機能が用意されています。
電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓に本機の特長や機能などを表示するデモ表示が自動的に始まります。ご使用前に以下の操作をしてデモ表示が出ないようにしてください。

電源が切れているとき、本体の［デモ ■］を２秒以上押します。

「DEMO CLEAR」が表示されます。
詳しくは、「デモ表示が出ないようにする」（➡9 ページ）をご覧ください。

MDLP   MP3/WMA RECORDING

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に３～５ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録
のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

GVT0263-001D

はじめに / 準備 / 基本操作 / 聞く / 録音する / 編集する / タイマー / ご参考に

もくじ

はじめに

安全上のご注意 3
使用上のご注意 6
付属品の確認 6

準備

準備 7
- アンテナを接続する 7
- スピーカーを接続する 8
- 電源プラグを接続する 9
- デモ表示が出ないようにする 9
- リモコンに電池を入れる 9

各部の名称と主なはたらき 10
- 本体 10
- 表示窓 10
- リモコン 11

基本操作

基本操作 12
- 電源を入れる / 切る 12
- 音量を調節する 12
- 時計を合わせる 13
- 重低音を強調する（AHB PRO） 14
- 低音 / 高音を調節する（BASS/TREBLE） 14
- 音に効果をもたせる（サウンドモード） 14
- 表示窓の色を変える 15
- 表示窓の明るさを変える（ディマー） 15
- チャイルドロック 15

聞く

ラジオを聞く 16
- 放送局を選ぶ 16
- 放送局を記憶させる（プリセット） 17
- 放送局を呼び出す（プリセット選局） 17
- 放送局に名前をつける 17
- 表示窓の表示を変える 17

ディスク（CD）/USB 機器 /MD を聞く 18
- 再生できるディスク /USB 機器 / ファイル 18
- ディスクを再生する 19
- MD を再生する 20
- USB 機器を再生する 20
- ディスク /MD/ ファイルの基本操作 21
- 表示を切り換える 21
- MD と USB 機器のグループ再生 22
- リピート再生 22
- プログラム再生 22
- ランダム再生 24
- MD や USB 機器で曲やグループタイトルを検索する（タイトルサーチ） 25

テープを聞く 26
- テープの再生 26
- テープの基本操作 27
- 表示を切り換える 27

外部機器の音楽を聞く 28
- 外部機器を再生する 28
- 外部入力端子の音声入力レベルを調節する 28
- 表示を切り換える 28

録音する

MD に録音する 29
- MD への録音について 29
- 録音先の準備をする 30
- ディスク（CD）/USB 機器から MD に録音する 30
- 表示を切り換える 31
- ラジオ / テープ / 外部機器から MD に録音する 32

USB 機器に録音する 33
- USB 機器への録音について 33
- 録音先の準備をする 33
- ディスク(CD)/MDからUSB機器に録音する 34
- 表示を切り換える 35
- ラジオ/テープ/外部機器からUSB機器に録音する 36

テープに録音する 37
- テープへの録音について 37
- 録音済みのテープの音を消す 38
- 表示を切り換える 38

編集する

MD の曲情報を変更する 39
- MD のタイトルをつける 39
- 文字入力のしかた 40

MD の曲を編集する 41
- MD の編集について 41
- 曲を 2 つに分ける（DIVIDE） 41
- 曲をつなげる（JOIN） 42
- 曲を並べ替える（MOVE） 42
- 曲を削除する（ERASE） 43
- 全曲を削除する（ALL ERASE） 43

MD のグループを編集する 44
- MD のグループ編集について 44
- グループをつくる（FORM GR） 44
- グループに曲を追加する（ENTRY GR） 45
- グループを 2 つに分ける（DIVIDE GR） 45
- グループをつなげる（JOIN GR） 46
- グループを並べ替える（MOVE GR） 46
- グループを解除する（UNGROUP） 47
- グループを削除する（ERASE GR） 47

USB 機器の曲・グループを編集する 48
- USB 機器の曲・グループの編集について 48
- 曲のタイトルを編集する（TR TITLE） 48
- グループのタイトルを編集する（GR TITLE） 49
- グループをつくる（FORM GR） 49
- 曲を並べ替える（MOVE） 50
- 曲を削除する（ERASE） 50
- グループを削除する（ERASE GR） 51
- 初期化する（FORMAT） 51

タイマー

タイマーを使う 52
- おやすみタイマーを使う 52
- 自動的に電源を切る（オートスタンバイ） 52
- 録音タイマー / 再生タイマーを使う 53

ご参考に

MD の制約について 55
ディスク /MD/ テープの取り扱いについて 56
MD/ ディスク /USB 機器のメッセージ 57
故障かな？と思う前に 59
保証とアフターサービス 60
ビクターサービス窓口案内 61
主な仕様 62
索 引 63

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

● 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）
すぐに電源を切って、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
● 電源コードを加工しない
● 電源コードを無理に曲げない
● 電源コードをねじらない
● 電源コードを引っ張らない
● 電源コードを熱器具に近づけない
● 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流 100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから 10cm 以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に設置すると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや、熱器具の近くなど高温になるところ
- 窓際など水滴の発生しやすいところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

3 年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

本機は電源プラグの抜き差しで、主電源を入 / 切します。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池を充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。
万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

欧州連合のリサイクルマークです。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA 機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を入れたまま約 1 ～ 2 時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

■ **本体表面のお手入れ**

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

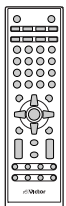
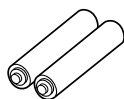
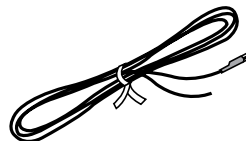
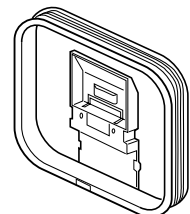
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

データのお取り扱いについて

- 本機の故障または不測の事態などにより、再生・録音において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での録音・再生のときに、データ（USB 機器 /MD）の消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。

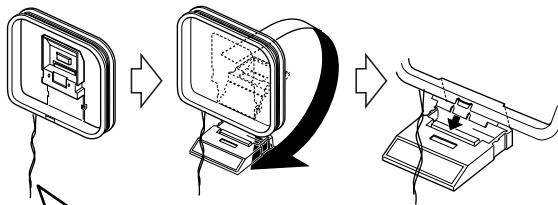
付属品の確認

リモコン（1 個）

RM-SUXZ2-S

単 4 形乾電池（2 本）
（リモコン動作確認用）

FM 簡易型アンテナ
（1 本）

AM ループアンテナ（1 個）

準備 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

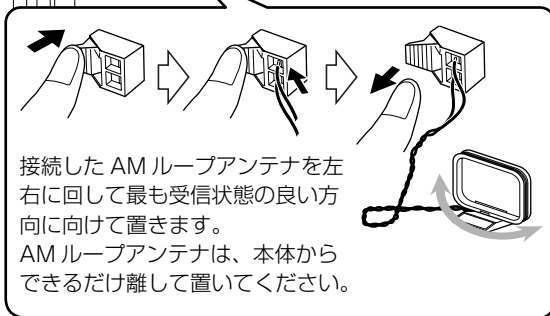
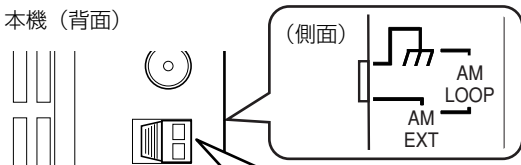
アンテナを接続する

AM ループアンテナ（付属品）を接続する

AM ループアンテナ（付属品）を組み立てる

お知らせ

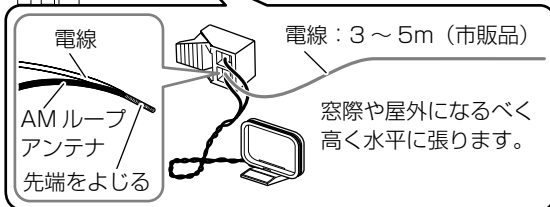
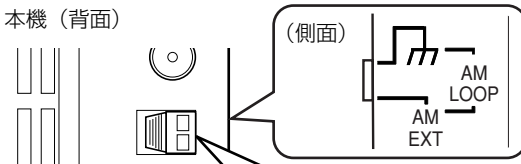
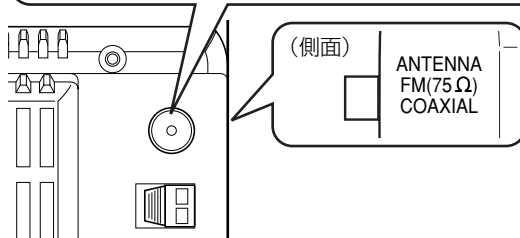
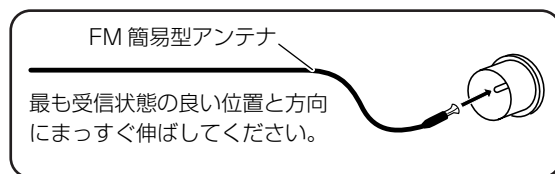
AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

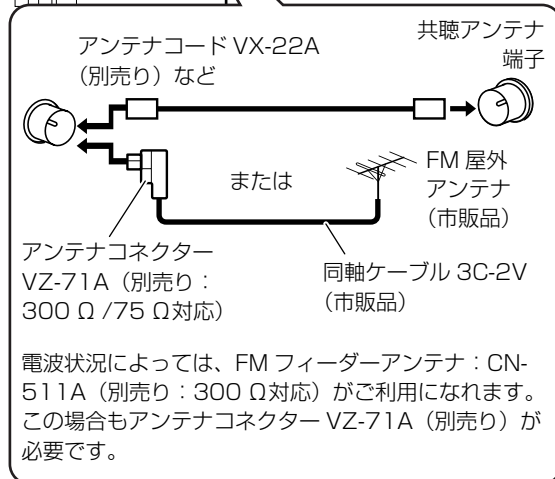
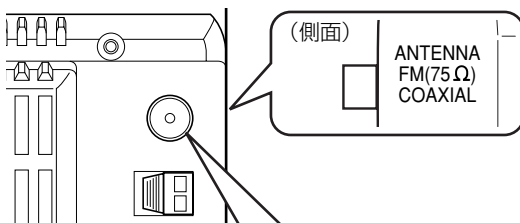
AM ループアンテナを接続する

本機（背面）

お知らせ

アンテナ線が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。受信の妨げになることがあります。

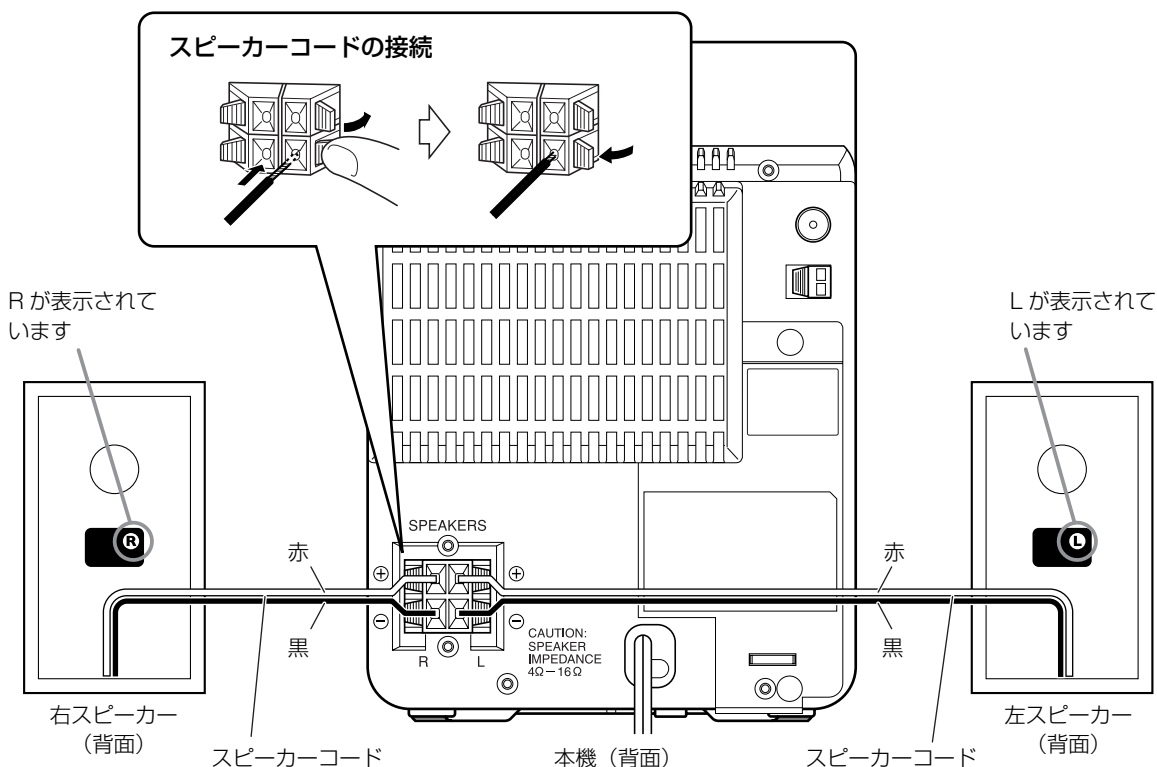
■ 付属の AM ループアンテナではうまく受信できないとき

本機（背面）

FM 簡易型アンテナ（付属品）を接続する

■ 付属の FM 簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

本機（背面）

お知らせ

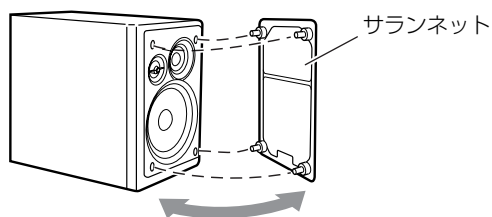
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください（➡16 ページ）。一般的に、窓際に設置すると良好に受信できます。

スピーカーを接続する

接続後、スピーカーコードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

ご注意

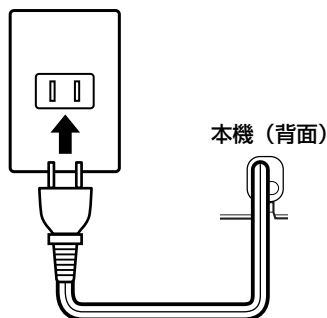
- **スピーカーコードは確実に ⊕ と ⊖ に接続してください。スピーカーコードが外れて本体の金属部分に接触すると、故障の原因になります。**
- **スピーカー端子の ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。故障の原因となります。**
- **複数のスピーカーを 1 つの端子に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。**

サランネットは取り外すことができます。

サランネット

お知らせ

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、４ Ω～ 16 Ωです。
- 本機の内部で発生した熱を放出するために、両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm 以上間隔をあけてください。
- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビの近くに設置するときは、テレビに色ムラが生じない位置まで離してください。

電源プラグを接続する

電源プラグは、すべての接続が終わってから差し込んでください。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜き、安全と節電を心がけてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電になると、タイマー予約の内容が取り消されます。そのまま 1 分以上経過すると、時計の設定も取り消されます。
- 電源プラグをコンセントに差し込んで電源を入れると、カセットデッキ部から「ガチャガチャ」と音がしますが、これはカセットメカの位置を初期化している音ですので、故障ではありません。

デモ表示が出ないようにする

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、「DEMO START!」と表示され、自動的にデモが始まります。ご使用の前にデモ表示が出ないように設定してください。

■ 電源が切れているとき

本体の [デモ] を 2 秒間押し続ける

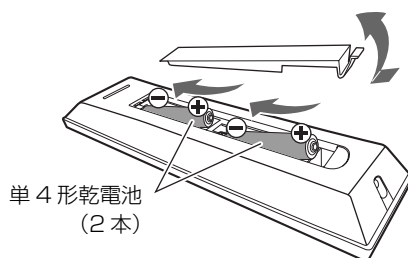
「DEMO CLEAR」と表示されます。

以後は、電源プラグを抜き差ししてもデモ表示は行われません。

お知らせ

- デモを再表示したいときは、電源が切れているときに、本体の **[デモ]** を「Hello」が表示されるまで押し続けます。
- デモ表示中に、本機のいずれかのボタンを押すと、デモ表示が一時的に解除されます。ただし、2分間何も操作しないと、再びデモが始まります。
- 電源が入っている時に本体の **[デモ]** を2秒間押し続けると、「DEMO OFF」と表示され、デモ表示が解除されます。ただし、電源プラグを抜き差しすると、再びデモが表示されるようになります。

リモコンに電池を入れる

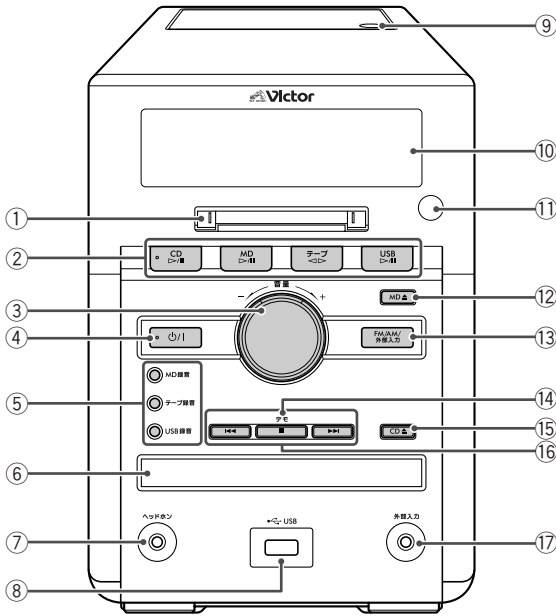
リモコン内部の極性表示（⊕/⊖）に合わせて正しく入れてください。

ご注意

- **付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。**
- **乾電池は、「安全上のご注意」（➡ 3 ～ 5 ページ）をお読みの上、正しくお取り扱いください。**
- **落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。**

リモコンを使うには

- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約 5m 以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

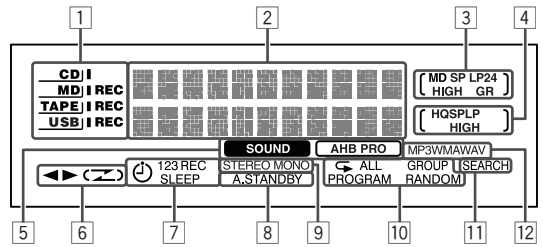
各部の名称と主なはたらき

本体

① MD 挿入口（➡20 ページ）
② ソース（音源）ボタン
- CD ▷/II（➡19 ページ）
- MD ▷/II（➡20 ページ）
- テープ ◁▷（➡27 ページ）
- USB ▷/II（➡20 ページ）

③ 音量調節つまみ（➡12 ページ）
④ ⏻/I（電源）ボタン（➡12 ページ）
⑤ 録音ボタン
- MD 録音（➡31、32 ページ）
- テープ録音（➡38 ページ）
- USB 録音（➡35、36 ページ）

⑥ CD トレイ（➡19 ページ）
⑦ ヘッドホン端子
別売りのヘッドホン（ミニプラグ）を接続します。ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音がでなくなります。
⑧ USB 端子（➡20 ページ）
⑨ カセットホルダー /PUSH OPEN ⏏（カセット取り出し）（➡26 ページ）
⑩ 表示窓
⑪ リモコン受光部
⑫ MD ⏏（MD 取り出し）ボタン（➡20 ページ）
⑬ FM/AM/ 外部入力ボタン（➡16、28 ページ）
⑭ デモボタン（➡9 ページ）
⑮ CD ⏏（CD 取り出し）ボタン（➡19 ページ）
⑯ 基本操作ボタン
- ■（停止）
- ⏮/⏭

⑰ 外部入力端子（➡28 ページ）

表示窓

1 再生（▌）表示と録音先（REC）表示
2 メインディスプレイ（情報表示部）
3 MD の録音設定表示
- SP/LP2/LP4：録音品質（➡30、32 ページ）
- HIGH：高速録音（➡31 ページ）
- GR：グループ録音（➡30、32 ページ）

4 USB 機器の録音設定表示
- HQ/SP/LP：録音品質（➡34、36 ページ）
- HIGH：高速録音（➡34 ページ）

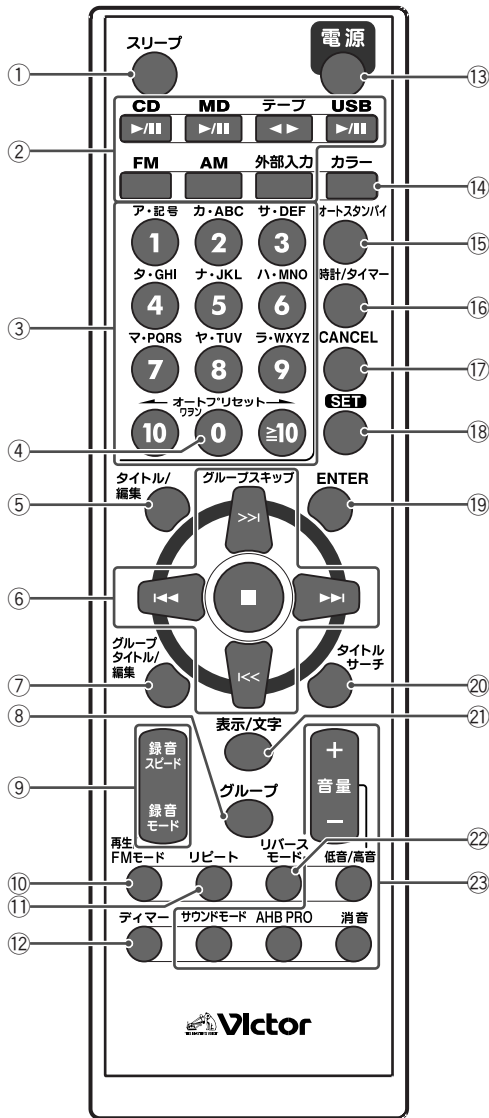
5 音質表示
- SOUND（➡14 ページ）
- AHB PRO（➡14 ページ）

6 テープの再生モード表示
- ◀▶：テープの走行方向（➡27 ページ）
- ⟲：リバースモード（➡27 ページ）

7 タイマー表示
- ⏲ 123：再生タイマー（➡54 ページ）
- ⏲ 123 REC：録音タイマー（➡54 ページ）
- SLEEP：スリープタイマー（➡52 ページ）

8 A.STANDBY 表示（➡52 ページ）
9 FM モード表示（➡16 ページ）
10 ディスク /MD/USB 機器の再生モード表示
- ⟲ / ⟲ ALL：リピート（➡22 ページ）
- PROGRAM：プログラム（➡23 ページ）
- RANDOM：ランダム（➡24 ページ）
- GROUP：グループ（➡22、24 ページ）

11 タイトルサーチ表示（➡25 ページ）
12 ファイル表示

リモコン

① **スリープボタン**（➡52 ページ）
おやすみタイマーを設定します。

② **ソース（音源）ボタン**
- **CD ►/II**（➡19 ページ）
- **MD ►/II**（➡20 ページ）
- **テープ ◄►**（➡27 ページ）
- **USB ►/II**（➡20 ページ）
- **FM**（➡16 ページ）
- **AM**（➡16 ページ）
- **外部入力**（➡28 ページ）

③ **数字 / 文字入力ボタン**（➡12、40 ページ）

④ **オートプリセットボタン**（➡17 ページ）
ラジオ局を自動的に登録します。

⑤ **タイトル / 編集ボタン**（➡17、39、41 ～ 43、48 ～ 51 ページ）
曲の名前を変えたり、移動したりします。

⑥ **基本操作ボタン**
- **グループスキップ >>I / I<<**（➡21 ページ）
- **■**（停止）
- **I◄◄/►►I**

⑦ **グループタイトル / 編集ボタン**（➡39、44 ～ 47、49、51 ページ）
グループの名前を変えたり、移動したりします。

⑧ **グループボタン**（➡21 ページ）
グループを選びます。

⑨ **録音設定ボタン**
録音の設定をします。
- **録音スピード**（➡31、34 ページ）
- **録音モード**（➡30、32、34、36 ページ）

⑩ **再生 /FM モードボタン**（➡16、22 ～ 24 ページ）
再生モードや FM モードを設定します。

⑪ **リピートボタン**（➡22 ページ）
くり返し再生します。

⑫ **ディマーボタン**（➡15 ページ）
表示窓の明るさを変えます。

⑬ **電源ボタン**（➡12 ページ）

⑭ **カラーボタン**（➡15 ページ）
表示窓の色を変えます。

⑮ **オートスタンバイボタン**（➡52 ページ）
自動的に電源が切れるよう設定します。

⑯ **時計 / タイマーボタン**（➡13、53 ページ）
時計・タイマーの設定をします。

⑰ **CANCEL（キャンセル）ボタン**（➡13、23、40、54 ページ）

⑱ **SET（セット）ボタン**（➡13、17、23、25、39、41 ～ 51、53 ページ）

⑲ **ENTER（エンター）ボタン**（➡17、25、39、41 ～ 51 ページ）

⑳ **タイトルサーチボタン**（➡25 ページ）
曲名やグループ名を検索します。

㉑ **表示 / 文字ボタン**（➡17、21、27、28、31、35、38、40 ページ）
画面表示を切り換えます。／入力する文字の種類を切り換えます。

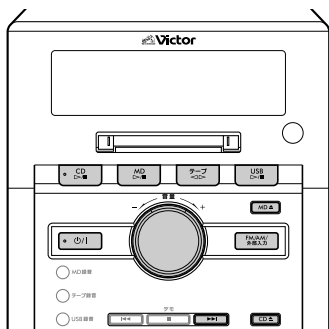
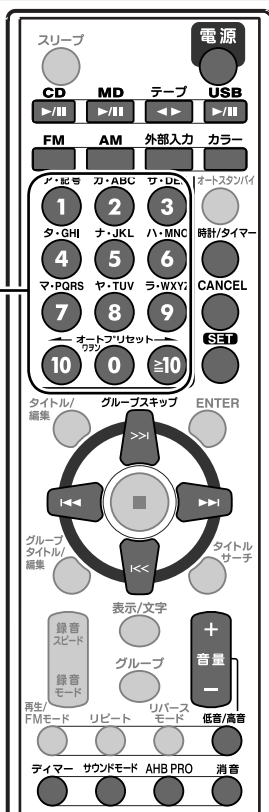
㉒ **リバースモードボタン**（➡27 ページ）
テープのリバースモードを選びます。

㉓ **音量 / 音質調節ボタン**
- **音量＋ / －**（➡12 ページ）
- **低音 / 高音**（➡14 ページ）
- **サウンドモード**（➡14 ページ）
- **AHB PRO**（➡14 ページ）
- **消音**（➡12 ページ）

基本操作

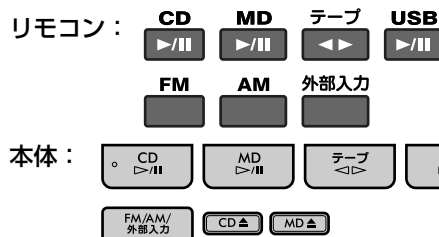
本書の見かた
主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

数字ボタンの使いかた

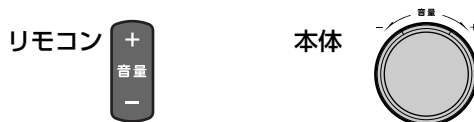
「3」を選ぶ： 3 を押す
「10」を選ぶ： 10 を押す
「20」を選ぶ： ≧10 → 2 → 0 と押す
「23」を選ぶ： ≧10 → 2 → 3 と押す
「123」を選ぶ： ≧10 → ≧10 → 1 → 2 → 3 と押す

電源を入れる / 切る

[電源]（または本体の [⏻/I]）を押す

リモコン 本体

- 次のいずれかを押したときも電源が入ります。

[CD ⏏] [MD ⏏] 以外のボタンを押したときは、再生も始まります。

音量を調節する

[音量＋ / －] を押す、または本体の [音量] を回す

- 0 ～ 40 の範囲で調節できます。

音を一時的に消すには

[消音] を押す

「FADE MUTING」と表示され、音量が「0」になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。

時計を合わせる

本体の電源が入っていても切れていても、操作できます。

1 [時計 / タイマー] を押す

時が点滅して、合わせられるようになります。

2 [▶▶|] または [|◀◀] を押して、時を合わせる

- [▶▶|] または [|◀◀] を押し続けると表示が連続して変わります。
- 数字ボタンも使えます。「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

3 [SET] を押す

分が点滅して、合わせられるようになります。

4 [▶▶|] または [|◀◀] を押して、分を合わせる

- [▶▶|] または [|◀◀] を押し続けると表示が連続して変わります。
- 数字ボタンも使えます。「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

5 [SET] を押す

曜日が点滅して、合わせられるようになります。

6 [▶▶|] または [|◀◀] を押して、曜日を合わせる

- [▶▶|] または [|◀◀] を押し続けると表示が連続して変わります。
- 曜日表示：

Sun.	日曜日
Mon.	月曜日
Tue.	火曜日
Wed.	水曜日
Thu.	木曜日
Fri.	金曜日
Sat.	土曜日

7 時報などに合わせて、[SET] を押す

時計が動き始めます。

お知らせ

- 操作の途中で [CANCEL] を押すと 1 つ前の手順に戻ります。
- 本機の時計は 24 時間表示です。
- 月に 1 分程度のズレを生じます。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電などで電源が切れたときは、時計を合わせ直してください。

時計を合わせ直すには

[時計 / タイマー] をくり返し押して時刻・曜日を表示させ、手順 2 から操作します。

重低音を強調する（AHB PRO）

[AHB PRO] を押す

AHB PRO

- 押すごとに次のように切り換わります。

AHB ON	重低音が強調されるようになります。 • AHB PRO 表示が点灯します。
AHB OFF	AHB PRO の解除

- AHB PRO は、Active（アクティブ） Hyper（ハイパー） Bass（バス） PRO（プロ） の略です。

お知らせ

録音される音には影響しません。

低音 / 高音を調節する（BASS/TREBLE）

お知らせ

低音 / 高音を調節するときは、サウンドモード（➡ 右記）を「ノーマル」に設定してください。「ノーマル」以外に設定しているときは、「NO OPERATE」と表示され、調節することはできません。

1 [低音 / 高音] をくり返し押して、調節したい項目を選ぶ

- 押すごとに次のように切り換わります。

BASS	低音を調節します。
TREBLE	高音を調節します。

2 [音量＋ / −] を押して音質を調節する

＋ 音量 −

- −５〜＋５の範囲で調節できます。
- 数秒後に自動で元のソース（音源）の表示に戻ります。

お知らせ

録音される音には影響しません。

音に効果をもたせる（サウンドモード）

[サウンドモード] を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

ライブ	臨場感あふれる音を聞きたいときに
ポップ	元気な音楽を楽しみたいときに
ダンス	軽快な音楽を楽しみたいときに
エンカ	落ち着いた雰囲気で楽しみたいときに
ロック	躍動感のある音楽を楽しみたいときに
ノーマル	サウンドモード解除

- サウンドモードを「ノーマル」以外に設定しているときは、SOUND 表示が点灯します。

お知らせ

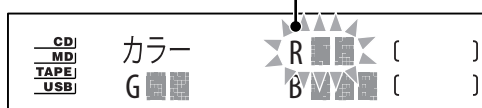
録音される音には影響しません。

サウンドモード
ビクターの音響技術を組み合わせ、リスナーの気分に合わせた音の世界を演出します。

表示窓の色を変える

1 [カラー] を押す

2 [I<<] または [>>I] を押して変更したい色を選ぶ

選んだ色が点滅します。

3 [I◀◀] または [▶▶I] を押して色を調節する

- 「■」の数で色レベルを調節します。
  すべての「■」を消すことはできません。

4 手順 2 と手順 3 をくり返して、好みの色に調節する

5 [SET] を押す

お知らせ

録音が停止したときは、表示窓の色が赤色になり、録音が終了したことをお知らせします。次に操作をすると表示窓の色が元に戻ります。

表示窓の明るさを変える (ディマー)

[ディマー] を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

DIMMER 1	やや暗くなります。
DIMMER 2	暗い青になります。
DIMMER OFF	ディマー解除

お知らせ

表示窓の色の変更中（➡ 左記）は、ディマーは解除されます。

チャイルドロック

CD や MD が取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

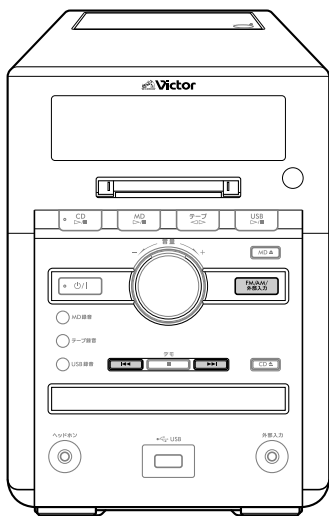
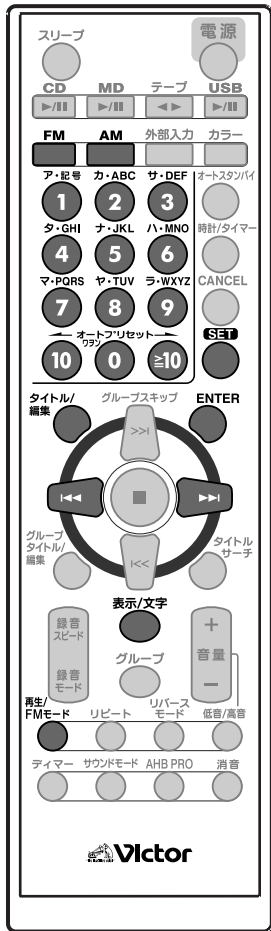
■ 電源が切れているとき

本体の [▶▶I] を押したまま [CD ▶/II] を押す

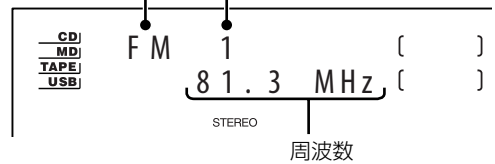
チャイルドロックをすると、[CD ≜] または [MD ≜] を押しても、「LOCKED」と表示され、CD や MD を取り出せなくなります。

解除するには

電源が切れているときに、もう一度、同じ操作をします。

ラジオを聞く

放送局を選ぶ

1 [FM] または [AM] を押す

- 本体の [FM/AM/ 外部入力] をくり返し押して [AM] または「FM」を選んで、ソース（音源）を切り換えることもできます。

2 [▶▶|] または [|◀◀] を押して、聞きたい放送局（周波数）を選ぶ

- FM ステレオ放送を受信すると、STEREO 表示が点灯します。
- オート（自動）選局を使って、放送局を選ぶこともできます。

オート（自動）選局
[▶▶|] または [|◀◀] を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。放送を受信すると自動で止まります。
途中で止めたいときは、[▶▶|] または [|◀◀] を押します。

お知らせ

- 本機は AM ステレオ放送には対応していません。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機の FM 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

FM ステレオ放送が聞きにくいときは —FM モードの切り換え

再生/
FMモード

FM ステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、[再生 /FM モード] を押して「FM MONO」を選び、音声をモノラルにする（MONO 表示が点灯）と、聞きやすくなることがあります。
ステレオ受信に戻すには、もう一度 [再生 /FM モード] を押して「FM AUTO」を選びます。

放送局を記憶させる（プリセット）

FM 放送は最大 30 局、AM 放送は最大 15 局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート（自動）プリセット

FM 放送と AM 放送それぞれについて操作します。

■ FM 放送または AM 放送を受信中に

[オートプリセット] を 2 秒以上押し続ける

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。

- オートプリセットが終了すると、プリセット番号 1 に記憶された放送局が受信されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

お知らせ

雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル（手動）プリセット

放送局を 1 つずつ記憶させます。

■ プリセットしたい放送局の受信中に

1 [SET] を押す

プリセット番号が約 5 秒間点滅します。

2 プリセット番号が点滅している間に、数字ボタンを押して記憶させたい番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

3 選んだ番号が点滅している間に [SET] を押す

「STORED」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

- FM 放送では、FM モードも記憶されます。（➡16 ページ）
- 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

放送局を呼び出す（プリセット選局）

■ FM 放送または AM 放送を受信中に

数字ボタンを押して、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

放送局に名前をつける

プリセットされた放送局に、最大 8 文字まで名前をつけることができます。

1 名前をつけたい局を、数字ボタンを押して選ぶ

2 [タイトル / 編集] を押す

3 名前を入力し、[ENTER] を押す

「STORED」と表示され、入力した名前が登録されます。

- 文字入力の方法は「文字入力のしかた」（➡40 ページ）をご覧ください。

お知らせ

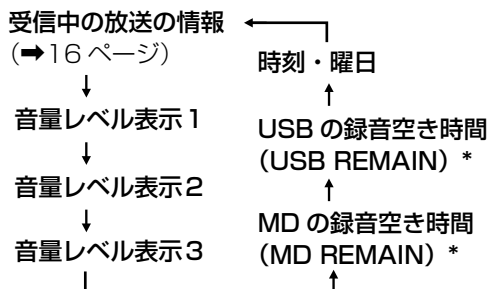
- 名前を入力したあと、あらためてオートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、名前は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、名前を入力できません。

表示窓の表示を変える

[表示 / 文字] を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

＊ MD または USB 機器がないときは表示されません。

聞く

ディスク（CD）/USB 機器 /MD を聞く

再生できるディスク /USB 機器 / ファイル

再生できるディスク

ディスクの種類	フォーマット
音楽 CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD 規格（CD-DA）に準拠しているディスク
CD-R/CD-RW COMPACT disc Recordable COMPACT disc ReWritable	音楽 CD フォーマットで作成したディスク、または本機で再生できるファイル（➡ 右記）が記録されたディスク

- ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD テキストの表示には対応していません。

音楽 CD について

- 本機では、CD 規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
- CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

- CD-R/CD-RW ディスクを使用されるときは、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- CD-R/CD-RW ディスクを作成するときは、次のことに注意してください。
  - ディスクフォーマットを「ISO 9660」にする
  - パケットライト方式（UDF フォーマット）は使わない
  - 必ずファイナライズする
- 上記以外で記録したことのある CD-RW ディスクは、記録した機器で 1 度全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

再生できる USB 機器

本機は、USB マスストレージ規格対応の USB 機器（デジタルオーディオプレーヤーやフラッシュメモリーなど）を再生することができます。

- 本機で使用できるデジタルオーディオプレーヤーは、Microsoft® Windows® Media Player で音楽ファイルを管理でき、USB マスストレージクラスに対応する機器に限ります。ただし、すべてを保証するものではありません。
- 本機は DRM（デジタル著作権管理）には対応していません。
- USB 機器やファイルのなかには、本機で再生できないものがあります。

再生できるファイルについて

再生対応フォーマット *			拡張子
	ディスク	USB 機器	
MP3	8 kbps ～ 320 kbps、8 kHz ～ 48 kHz、VBR		「.MP3」「.mp3」
WMA	16 kbps ～ 320 kbps、22.05 kHz ～ 48 kHz、VBR	8 kbps ～ 320 kbps、8 kHz ～ 48 kHz、VBR	「.WMA」「.wma」
WAV	（再生できません）	16 bit、リニア PCM、ADPCM 8 kHz～48 kHz	「.WAV」「.wav」

* サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR：可変ビットレート

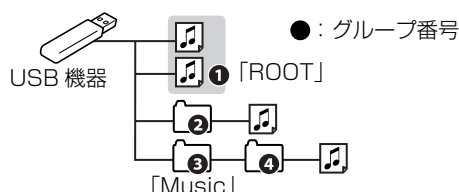
- MP3i、MP3 PRO、WMA Lossless などの特殊なファイルは再生できません。
- WMA-DRM には対応していません。
- ディスクまたは USB 機器の特性や記録状態によっては、再生できない場合もあります。その場合は、再生できないファイルはスキップされます。
- ディスクや USB 機器の読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- ファイルの再生順序は、パソコンなどで表示する順序と異なることがあります。
- 再生できるファイルを含まないフォルダは無視されます。

ファイル / フォルダ（グループ）について

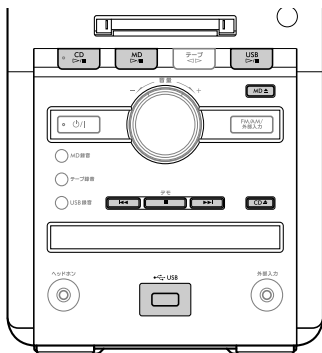
本書ではフォルダを「グループ」と呼びます。本機が 1 枚の CD-R/CD-RW または USB 機器で認識、再生できるファイル数とグループ数は、次のようになります。

ディスク	グループ数・ファイル数合わせて 512 まで グループ数は 99 まで
USB 機器	2000 ファイルまで（1 つのグループ内で 999 ファイルまで）グループ数は 999 まで

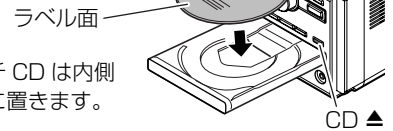
USB 機器のファイル管理について

- 再生できないファイルは数えません。
- 空のフォルダや再生できるファイルの入っていないフォルダも 1 つのグループとして数えられます。
- 再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルは 1 番目のグループとして扱われます。
- 収録されているファイルの曲タイトルやグループタイトルの長さによっては、最大ファイル数／グループ数が上記より小さくなることがあります。
- 最大フォルダ階層数は 16 です。

表示できる文字数について

	ファイル名／グループ名（半角英数字、拡張子を含まず）	ID3 タグ（半角英数字）
ディスク	28 文字まで	32 文字まで
USB 機器	64 文字まで	64 文字まで

- タグ情報（ID3 タグ、WMA タグ）に対応しています。タグ情報は表示窓に表示されます。
- ファイル名やグループ名に半角英数字または半角カタカナ以外の文字を使用すると、正しく表示されません。

ディスクを再生する

1 本体の [CD ≜] を押してトレイを開け、ディスクを入れて、[CD ≜] を押してトレイを閉める

ラベル面

- 8 センチ CD は内側の凹部に置きます。

CD ≜

2 [CD ►/II] を押す

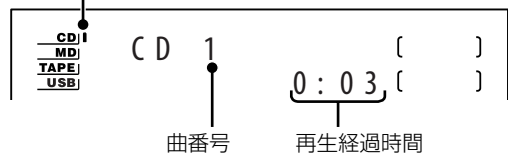
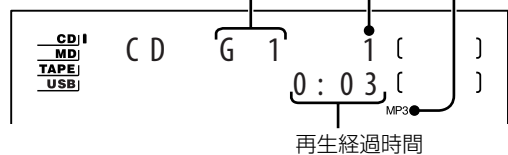
再生が始まります。

ディスクを取り出すには

[■] を押して停止して、本体の [CD ≜] を押します。

■ 再生中の表示

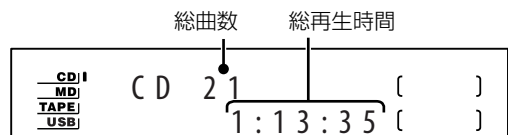
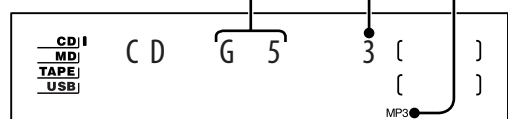
音楽 CD：

- ディスクを入れると点灯します。
- 再生中および一時停止中は点滅します。

MP3/WMA ディスク：

- ファイル名が最初に表示されます。

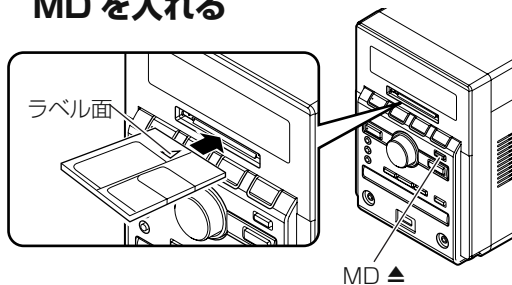
■ 停止中の表示

音楽 CD：

MP3/WMA ディスク：

聞く

MD を再生する

■ 電源が入っているとき

1 MD を入れる

ご注意

- **MD が入っていないことを確認してから入れてください。**
- **電源が切れているときは MD を入れないでください。無理に押し込むと故障の原因となります。**

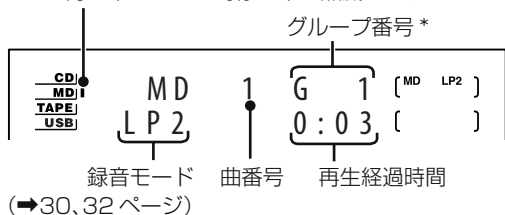
2 [MD ►/II] を押す

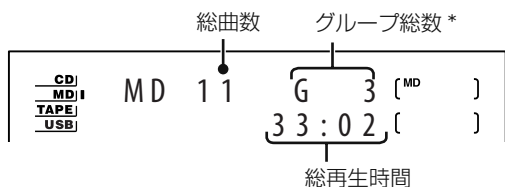
MD ►/II

再生が始まります。

MD を取り出すには

[■] を押して停止して、本体の [MD ⏏] を押します。

■ 再生中の表示

・ 曲タイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。

■ 停止中の表示

・ ディスクタイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。

* グループに登録されていないときは「G ――」と表示されます。

USB 機器を再生する

USB 機器の接続について

- USB 機器は、本機の電源を切ってから接続してください。
- 再生中は USB 機器を取り外さないでください。
- USB 機器は、本機に直接接続してください。ハブを使った接続はしないでください。
- USB 機器を接続するときは、USB 機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機の電源が入っているときは、USB 機器を充電することができます。
- 本機の USB（ ）端子はパソコンと接続できません。
- USB 機器を接続したり外したりするときは、本機の音量を最小にしておいてください。

■ 電源が切れているとき

1 USB 機器を接続する

2 [USB ►/II] を押す

USB ►/II

再生が始まります。

■ 再生中の表示

・ ファイル名が最初に表示されます。

■ 停止中の表示

ディスク /MD/ ファイルの基本操作

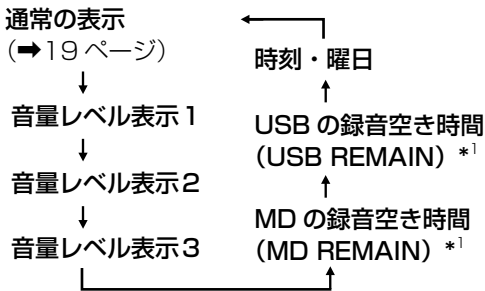
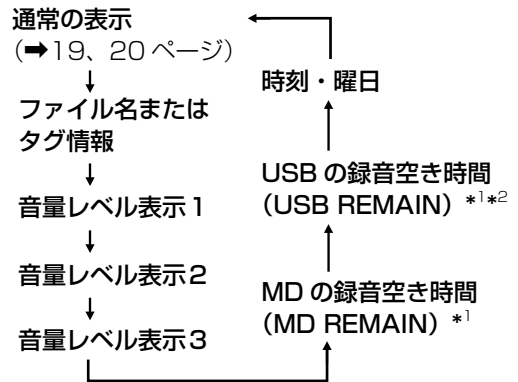
頭出し（スキップ）	[I◀◀] または [▶▶I] を押す
早戻し・早送り	[I◀◀] または [▶▶I] を押し続ける
グループスキップ	[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押す
トラック番号を直接指定する	数字ボタンを押す • 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。
グループ番号を直接指定する（CD、USB 機器）	[グループ] を押してから数字ボタンを押す • 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。
停止	[■] を押す
一時停止 / 再生	ディスク：[CD ▶/II] を押す USB 機器：[USB ▶/II] を押す MD：[MD ▶/II] を押す

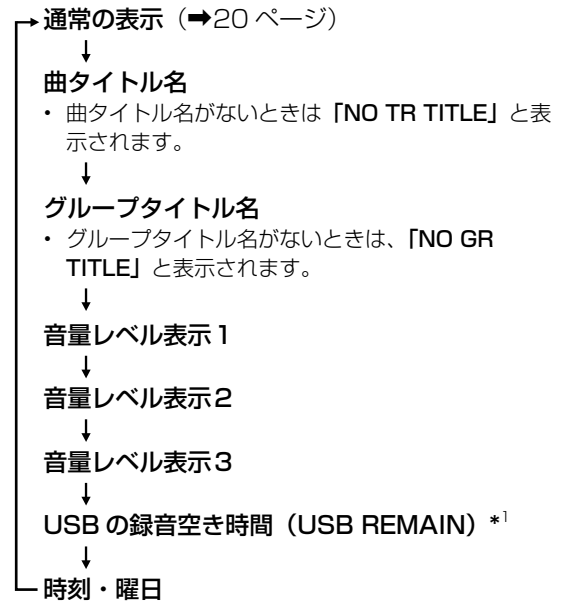
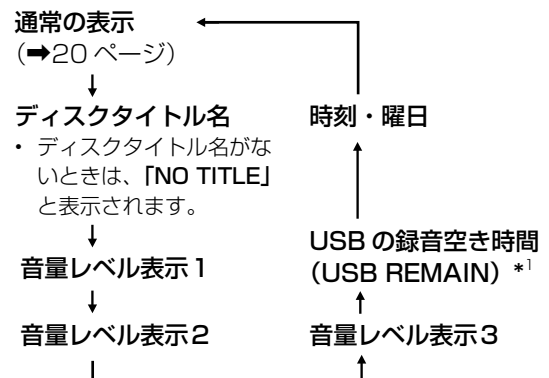
表示を切り換える

[表示 / 文字] を押す

表示/文字

• 押すごとに次のように切り換わります。

■ 音楽 CD

■ MP3/WMA/WAV ファイル（WAV ファイルは USB 機器でのみ再生可能）

■ MD

• 再生中

• 停止中

*1 MD または USB 機器がないときは表示されません。
*2 USB 機器再生中は表示されません。

MD と USB 機器のグループ再生

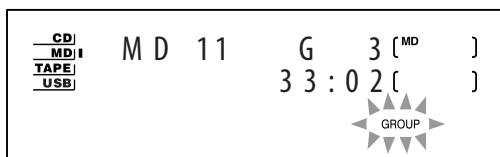
MD と USB 機器のお好みのグループだけを再生できます。

1　[MD ►/II] または [USB ►/II] を押す

USB ►/II

再生が始まります。

2　[■] を押して停止する

3　[再生 /FM モード] をくり返し押して、「GROUP」を選ぶ

- グループが 1 つもないときは、GROUP 表示が消え、通常の再生になります。

4　[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して、聞きたいグループを選ぶ

5　[MD ►/II] または [USB ►/II] を押す

USB ►/II

選んだグループの再生が始まります。

- 選んだグループの曲がすべて再生されると自動的に停止します。

グループ再生を解除するには

停止中に [再生 /FM モード] をくり返し押して、GROUP 表示を消灯させます。

お知らせ

以下の操作をすると、グループ再生は解除されます。

- MD を取り出したり、USB 機器を取り外したりする
- 電源を切る

リピート再生

聞きたい曲をくり返し再生することができます。

再生中に [リピート] を押してリピートモードを選ぶ

- 押すごとに次のように切り換わります。

REPEAT TRACK（⟲）	1 曲だけをくり返し再生します。
REPEAT GROUP（⟲ GROUP）	**CD の MP3/WMA ファイルのみ** 再生中のグループ内の全曲をくり返し再生します。
REPEAT ALL（⟲ ALL）	再生中のディスク、USB 機器、MD の全曲をくり返し再生します。 • グループ再生中は、選ばれているグループ内の全曲をくり返し再生します。
REPEAT OFF	リピート再生を解除します。

お知らせ

以下の操作をすると、リピート再生は解除されます。

- CD や MD を取り出したり、USB 機器を取り外したりする
- MD や USB 機器の編集をする
- 電源を切る

プログラム再生

CD は最大 50 曲、MD は最大 32 曲、USB 機器は最大 99 曲までプログラムして聞くことができます。

CD、MD のプログラム再生

1　[CD ►/II] または [MD ►/II] を押して、ソース（音源）を切り換える

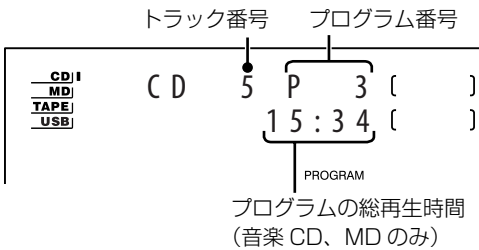
2　[■] を押して停止する

3 [再生/FMモード] をくり返し押して、「PROGRAM」を選ぶ

4 数字ボタンでトラック番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使いかた」(➡12ページ)をご覧ください。
- 音楽ファイルの場合は、グループ番号→トラック番号の順に選んでください。

5 [CD ►/II] または [MD ►/II] を押す

CD ►/II　MD ►/II

プログラム再生が始まります。

USB機器のプログラム再生

1 [USB ►/II] を押して、ソース(音源)を切り換える

2 登録したい曲の再生中に [SET] を押す

- 押した順にプログラムに登録されます。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループランダム再生中は登録できません。

3 [■] を押して停止する

4 [再生/FMモード] をくり返し押して、「PROGRAM」を選ぶ

5 [USB ►/II] を押す

プログラム再生が始まります。

お知らせ

- ディスク、MD、USB機器を組み合わせたプログラム再生はできません。
- 最大登録可能数を超えてプログラムしようとすると「PROGRAM FULL」と表示され、それ以上はプログラムできません。
- MDのプログラム再生の場合、プログラムの総再生時間が2時間31分以上になると、「--:--」と表示されます。

プログラムした内容を確認する

再生する前や停止中に、[|◄◄] または [►►|] をくり返し押します。

- CD、MDの場合、数字ボタンを押すと曲がプログラムの最後に追加されます。
- [CANCEL] を押すとプログラムの最後の曲が削除されます。

プログラム再生を解除するには

停止中に [再生/FMモード] をくり返し押してPROGRAM表示を消灯させます。

- プログラムした内容は削除されません。

プログラムした曲を削除するには

停止中に [CANCEL] を押します。プログラムの最後の曲が削除されます。

プログラムした内容をすべて削除するには

停止中に [CANCEL] を押し続けます。

お知らせ

以下の操作をすると、プログラムした内容が削除され、プログラム再生は解除されます。

- ディスクやMDを取り出したり、USB機器を取り外したりする
- 電源を切る

ランダム再生

ランダム（無作為）な順序で曲を再生することができます（ランダム再生）。
USB 機器を再生しているときは、選んだグループ内の曲をランダムな順序で再生することもできます（グループランダム再生）。

ランダム再生

1　[CD ►/II]、[MD ►/II] または [USB ►/II] を押して、ソース（音源）を切り換える

2　[■] を押して停止する

3　[再生 /FM モード] をくり返し押して「RANDOM」を選ぶ

4　[CD ►/II]、[MD ►/II] または [USB ►/II] を押す

ランダム再生が始まります。

USB 機器のグループランダム再生

1　[USB ►/II] を押す

2　[■] を押して停止する

3　[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して、グループを選ぶ

4　[再生 /FM モード] をくり返し押して「GROUP RANDOM」を選ぶ

5　[USB ►/II] を押す

グループランダム再生が始まります。

お知らせ

- ディスク、MD、USB 機器を組み合わせたランダム再生はできません。
- [I◄◄] を押すと再生中の曲の頭に戻ります。ただし、くり返し押しても前の曲には戻れません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。

ランダム再生 / グループランダム再生を解除するには

停止中に [再生 /FM モード] をくり返し押して RANDOM または GROUP RANDOM 表示を消灯させます。

お知らせ

以下の操作をすると、ランダム再生 / グループランダム再生は解除されます。

- ディスクや MD を取り出したり、USB 機器を取り外したりする
- 電源を切る

MD や USB 機器で曲やグループタイトルを検索する（タイトルサーチ）

MD、USB 機器の曲やグループのタイトルを検索（サーチ）します。

1 [MD ▶/II] または [USB ▶/II] を押して、ソース（音源）を切り換える

2 [■] を押して停止する

3 [タイトルサーチ] を押して、検索の種類を選ぶ

- 押すごとに次のように切り換わります。

TRACK T. SEARCH	曲のタイトルを検索します
GROUP T.SEARCH	グループのタイトルを検索します。（グループが登録されているときのみ有効）

4 [SET] を押す

例：MD の曲タイトルサーチのとき

グループタイトルサーチのときは GROUP SEARCH 表示が点灯します。

5 検索したいタイトルを入力する

- 最初の 1 ～ 5 文字まで入力します。
  例：
  「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルをサーチします。
  「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを検索します。
- 文字の入力方法は「文字入力のしかた」（➡40 ページ）をご覧ください。
- タイトルが記録されていない曲やグループを検索するときは、何も入力しないで手順 6 に進みます。

6 [ENTER] を押す

SEARCH 表示が点滅し、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると再生が始まります。再生が終わると自動で次のタイトルサーチが始まります。

お知らせ

- 空白（スペース）も文字として扱われますが、空白（スペース）の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 大文字と小文字は区別されます。
- 曲が見つからないときは「SEARCH END」と表示されます。
- タイトルサーチが終わると、SEARCH 表示が消灯します。

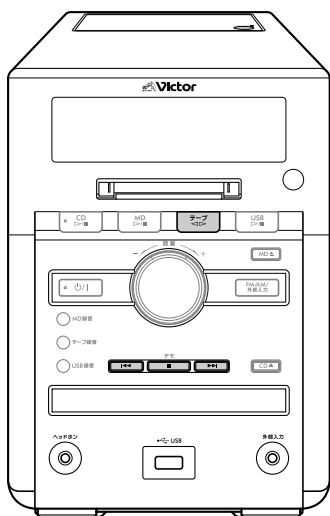
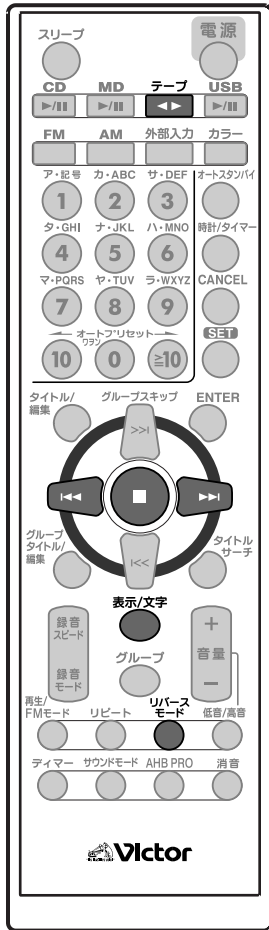
次の曲・グループを検索するには

次の曲を検索するには、[▶▶I] を押します。
次のグループを検索するには、[グループスキップ >>I] を押します。

タイトルサーチを中断するには

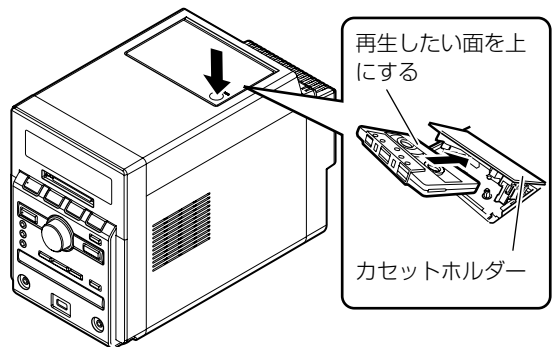
[**タイトルサーチ**] を押します。

- 「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが解除されます。MD の場合は、再生中の曲の頭に戻って再生を続けます。

テープを聞く

テープの再生

ご注意

- ご使用の前にテープのたるみを取り除いてください（➡56 ページ）。
- C-120 や C-150 などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機は、ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）の再生に対応しています。ハイポジションテープ（TYPE Ⅱ）やメタルテープ（TYPE Ⅳ）は、特性が異なるため再生しても正しい音質にはなりません。

1 [PUSH OPEN ≜] を押してカセットホルダーを開け、テープを入れる

テープを入れると点灯します。
再生中は点滅します。

2 [リバースモード] をくり返し押してリバースモードを選ぶ

リバース モード

- 押すごとに次のように切り換わります。

⇄)	おもて面からうら面への往復再生をします。
(⇄)	両面を連続再生します。（再生を停止するまで、くり返します。）
⇄	おもて面、またはうら面のみの片道再生

3 [テープ ◄►] を押す

テープ ◄►

再生が始まります。

- [テープ ◄►] を押すごとにテープの走行方向が変わります。テープを入れ、最初に [テープ ◄►] を押したときは必ず順方向（おもて面）で再生します。
  ► : おもて面再生中
  ◄ : うら面再生中

テープを取り出すには

[■] を押して停止して、本体の [PUSH OPEN ≜] を押します。

テープの基本操作

巻き戻し・早送り	[I◄◄] または [►►I] を押す • 順方向（►）の時は [I◄◄] が巻き戻し、[►►I] が早送りになります。 • 逆方向（◄）の時は [I◄◄] が早送り、[►►I] が巻き戻しになります。
停止	[■] を押す

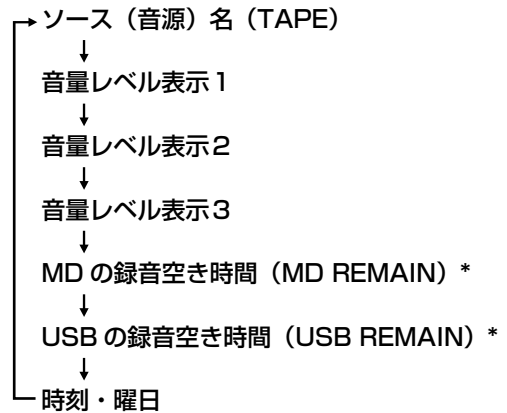
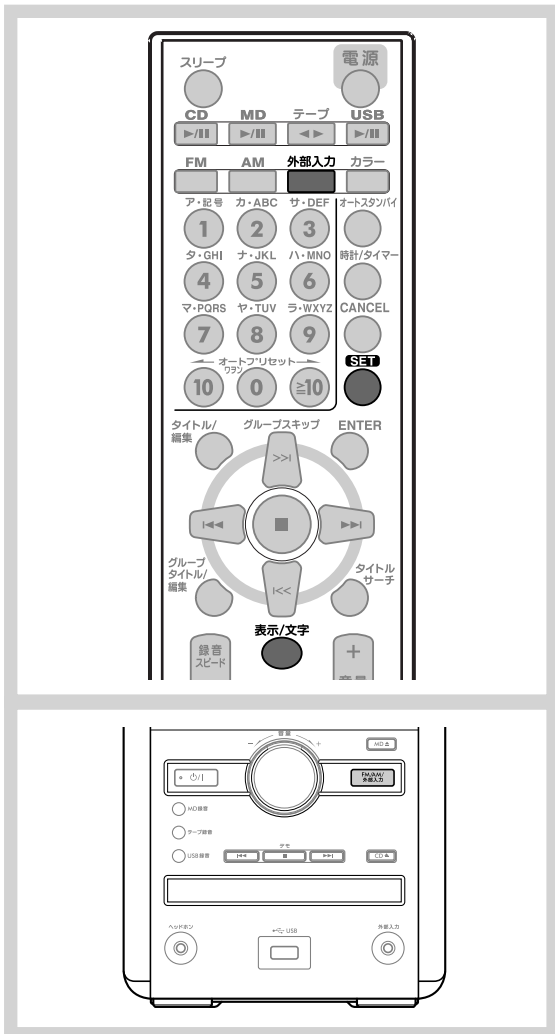
表示を切り換える

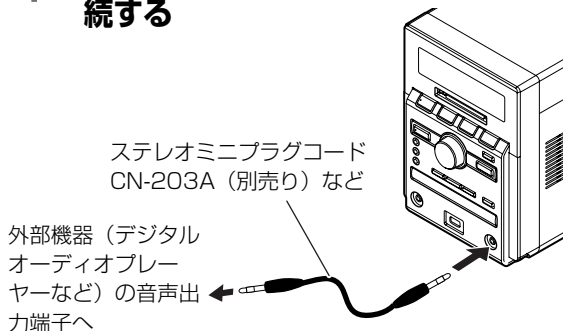
[表示 / 文字] を押す

表示/文字

- 押すごとに次のように切り換わります。

* MD または USB 機器がないときは表示されません。

聞く

外部機器の音楽を聞く

外部機器を再生する

1 再生したい機器を外部入力端子に接続する

- 本機の電源が入っていても切れていても、いつでも接続することができます。

ご注意

接続する機器の音量を下げてから接続してください。

2 [外部入力] を押す

- 本体の [FM/AM/ 外部入力] をくり返し押して、「LINE」を選んでソース（音源）を切り換えることもできます。

リモコン 　　本体 FM/AM/外部入力

3 接続した機器を再生する

- 接続した機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

CD MD TAPE USB　　LINE　　[　　] [　　]

外部入力端子の音声入力レベルを調節する

本機の外部入力端子に接続した機器からの音声入力レベルを、本機で調節することができます。
- ソース（音源）が「LINE」のときのみ操作できます。

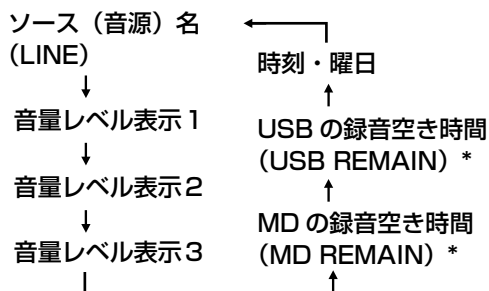
入力レベルが表示されるまで [SET] を押し続ける

- 押し続けるごとに次のように切り換わります。

LEVEL 1	「LEVEL 2」では音声入力レベルが大きすぎるときに選びます。デジタルオーディオプレーヤー以外のオーディオ機器を接続しているときに選んでください。
LEVEL 2	「LEVEL 3」では音声入力レベルが大きすぎるときに選びます。
LEVEL 3	通常はこの設定をお使いください。

表示を切り換える

[表示 / 文字] を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

* MD または USB 機器がないときは表示されません。

MD に録音する

MD への録音について

ご注意

録音中は USB ケーブルまたは接続機器を抜かないでください。

MD への録音について

本機はステレオ音声のまま 2 倍または 4 倍の長時間録音（MD**LP**）に対応しています。
1 枚の MD に違うモード (SP: 標準 /LP2: 2 倍長時間 /LP4: 4 倍長時間) の曲を混在させて録音することもできます。MD の録音残量は録音モードに応じて変わります。

- 録音モードが長時間 (SP → LP2 → LP4) になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SP を選んでください。
- 本機では、通常の 2 倍の時間で録音できる「モノラル録音」には対応しておりません。ただし、モノラルソース（音源）を MDLP の各モードで録音することはできます。
- お手持ちの MD 再生機（カーステレオやポータブル MD プレーヤー）が MDLP に対応していないときは、SP モードで録音してください。

ご注意

LP2 または LP4 で録音された曲は、MDLP に対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。MDLP に対応した機器で再生すると「LP:」は表示されません。「LP:」をつけるかどうかの設定については 31、32 ページをご覧ください。

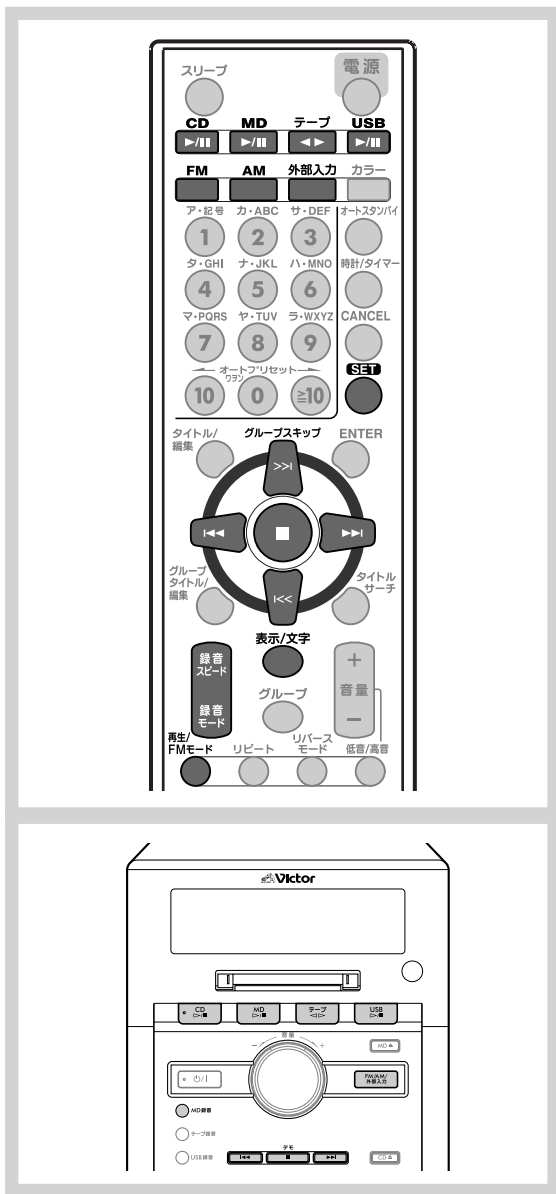
- すべての機器について動作を保証するものではありません。
- MD には最大 254 曲（トラック）まで録音することができます。これ以上録音しようとすると**「DISC FULL」**が表示されます。
- すでに途中まで録音してある MD のときは、本機が未録音部分を探して録音します。
- 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- 音楽 CD の音声はデジタル信号のまま録音されます。ラジオ、外部入力端子の音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
  - アナログ信号で録音することもできます。「CD-R/CD-RW からの録音」(➡31 ページ) をご覧ください。

ご注意

MD の録音中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」(書き込み中) の表示中は注意してください。MD が再生できなくなるおそれがあります。

録音可能な組み合わせ一覧

録音可能な組み合わせは以下の通りです。

<table>
<tr><th>録音先 / 録音元</th><th>MD に録音する
➡ 上記</th><th>USB 機器に録音する
➡ 33 ページ</th><th>テープに録音する
➡ 37 ページ</th></tr>
<tr><td>ディスク（CD）から</td><td>➡ 30 ページ</td><td rowspan="2">➡ 34 ページ</td><td rowspan="3">➡ 37 ページ</td></tr>
<tr><td>MD から</td><td>（できません）</td></tr>
<tr><td>USB 機器から</td><td>➡ 30 ページ</td><td>（できません）</td></tr>
<tr><td>テープから</td><td rowspan="3">➡ 32 ページ</td><td rowspan="3">➡ 36 ページ</td><td>（できません）</td></tr>
<tr><td>ラジオから</td><td rowspan="2">➡ 37 ページ</td></tr>
<tr><td>外部機器から</td></tr>
</table>

録音先の準備をする

録音できる MD を本体に入れます。(➡ 20 ページ)

- MD の誤消去防止つまみが閉じていることを確認してください。

MD の録音空き時間を確認する

MD 以外のソース（音源）を選び、[表示 / 文字] をくり返し押して「MD REMAIN」を表示させます。

ディスク（CD）/USB 機器から MD に録音する

お知らせ

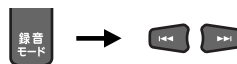
- 高速録音では CD を高速で回転させるため、CD の状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。このようなときは、等速で録音してください。
- 録音空き時間は、そのときの録音に使われる MDLP モードに応じて異なります。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。
- USB 機器から MD への高速録音はできません。

1 録音用の MD を準備する

- 「録音先の準備をする」（➡ 左記）をご覧ください。

2 [CD ▶/II] または [USB ▶/II] を押して録音元のソース（音源）に切り換える

3 [■] を押して停止する

4 録音モードを設定をする

[録音モード] をくり返し押して設定する項目を選び、[I◀◀] または [▶▶I] を押して設定を選びます。

MD REC TIME: 録音品質の選択

SP	標準のステレオ録音（MD80 で最大 80 分の録音可）
LP2	2 倍長時間のステレオ録音（MD80 で最大 160 分の録音可）
LP4	4 倍長時間のステレオ録音（MD80 で最大 320 分の録音可）。

MD GROUP REC: グループ録音の設定

ON	グループとして録音します。 • GR 表示が点灯します。
OFF	グループとして作成されません。

- グループは、録音後に編集することができます。(➡44 ～ 47 ページ)

MD(LP:): 「LP:」付加の設定

OFF	タイトルの頭に「LP:」をつけません。
ON	タイトルの頭に自動で「LP:」をつけます。

- タイトルの頭に「LP:」をつけると、LP2 または LP4 で録音された曲が判別しやすくなります。

5 音楽 CD から録音するとき：[録音スピード] を押して、録音スピードを選ぶ

録音 スピード

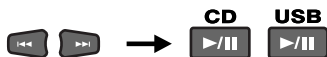
- 押すごとに次のように切り換わります。

NORMAL	通常の速さで録音します。
HIGH	高速で録音します。（最大 4 倍速。録音中は音声を聞くことができません。） • HIGH 表示が点灯します。

- プログラム録音（手順 6 参照）のときは「NORMAL」を選んでください。
- 音楽ファイルの高速録音はできません。「NORMAL」「HIGH」どちらを選んでも等速でアナログ録音されます。
- USB 機器からは高速録音はできません。そのまま手順 6 へ進んでください。

6 録音する曲を選ぶ

■ **ディスク／ USB 機器内の曲すべてを録音するとき（全曲録音）：**
手順 7 に進みます。

■ **選択した 1 曲だけを録音するとき（1 曲録音）：**
[|◀◀] または [▶▶|] を押して録音する曲を選び、[CD ▶/II] または [USB ▶/II] を押して再生します。

- 選んだ曲だけが曲の頭から録音されます。

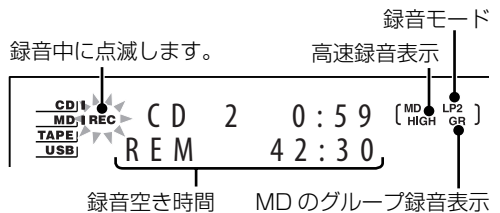
■ **ディスク／ USB 機器の途中の曲から最後まで録音するとき：**
[|◀◀] または [▶▶|] を押して最初に録音する曲を選びます。

■ **プログラムして録音するとき（プログラム録音）：**
録音したい曲をプログラムして、プログラム再生モードにします。（➡ 22、23 ページ）
- 音楽 CD から録音する時は、手順 5 で録音スピードを「NORMAL」に設定してください。「HIGH」のときは「CANNOT REC NORMAL ONLY」と表示され、録音されません。

■ **USB 機器内のあるグループの曲をすべて録音するとき：**
[再生 /FM モード] をくり返し押して「GROUP」を選び、[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して録音したいグループを選びます。

7 本体の [MD 録音] を押す

MD録音

録音が始まります。

- 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。
- 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは 55、57 ページをご覧ください。

録音をやめるには

[■] を押します。

CD-R/CD-RW からの録音

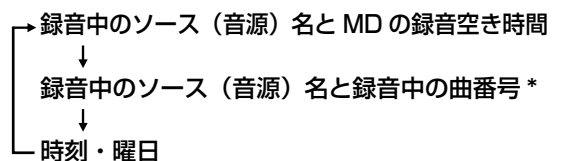
CD-R/CD-RW の音声を録音するとき、本機の表示窓に「SCMS CANNOT COPY」と表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音スピードで「NORMAL」（等速）のモードを選び（➡ 左記手順 5）、手順 7 で本体の [MD 録音] を 4 秒以上押し続けます。「ANALOG REC?」が表示されたら、再度 [MD 録音] を押してください。アナログで録音が始まります。

表示を切り換える

[表示 / 文字] を押す

表示/文字

押すごとに、次のように切り換わります。

録音中のソース（音源）名と MD の録音空き時間
↓
録音中のソース（音源）名と録音中の曲番号 *
↓
時刻・曜日

* グループ録音をしているときは、グループ番号も表示されます。

録音する

ラジオ / テープ / 外部機器から MD に録音する

1 録音用の MD を準備する

• 「録音先の準備をする」（➡ 30 ページ）をご覧ください。

2 録音元のソース（音源）に切り換え、録音の準備をする

■ **ラジオ放送を録音するとき：**
録音したい放送局を選びます。
(➡16 ページ)

■ **テープから録音するとき：**
ソース（音源）を「TAPE」に切り換え、録音する曲の頭出しをします。(➡27 ページ)

■ **外部機器から録音するとき：**
ソース（音源）を「LINE」に切り換え、録音する機器の再生の準備をします。
(➡28 ページ)

3 録音モードを設定をする

[録音モード] をくり返し押して設定する項目を選び、[|◀◀] または [▶▶|] を押して設定を選びます。

MD REC TIME: 録音品質の選択

SP	標準のステレオ録音（MD80 で最大 80 分の録音可）
LP2	2 倍長時間のステレオ録音（MD80 で最大 160 分の録音可）
LP4	4 倍長時間のステレオ録音（MD80 で最大 320 分の録音可)。

MD MARKING: トラックマークのつけかたの設定

MANUAL	手動でトラックマークをつけます。（お買い上げ時の設定） • トラックマークをつけるには、録音中に [SET] を押します。
TIME	5 分間隔でトラックマークがつきます。
AUTO	音が無い状態が 3 秒以上続くと、トラックマークがつきます。

MD GROUP REC: グループ録音の設定

ON	グループとして録音します。 • GR 表示が点灯します。
OFF	グループとして作成されません。

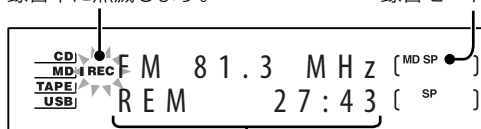
• グループは、録音後にまとめたり解除することができます。（➡44 ～ 47 ページ）

MD(LP:): 「LP:」付加の設定

OFF	タイトルの頭に「LP:」をつけません。
ON	タイトルの頭に自動で「LP:」をつけます。

• タイトルの頭に「LP:」をつけると、LP2 または LP4 で録音された曲が判別しやすくなります。

4 本体の [MD 録音] を押す

録音が始まります。
• 外部機器から録音する場合は、録音空き時間が表示されたら、接続した機器の再生を始めてください。音声が入力されると、録音が自動的に始まります（サウンドシンクロ録音）。ソース（音源）の音声が 30 秒以上途切れると、自動的に録音が終了します。
• [MD ▶/II] を押して録音を始めることもできます。この場合はソース（音源）の音声が 30 秒以上途切れても自動的に停止しません。
• 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

録音をやめるには

[■] を押します。

USB 機器に録音する

USB 機器への録音について

録音できる USB 機器について

本機は、USB マスストレージ規格対応の USB 機器（デジタルオーディオプレーヤーやフラッシュメモリーなど）に録音することができます。

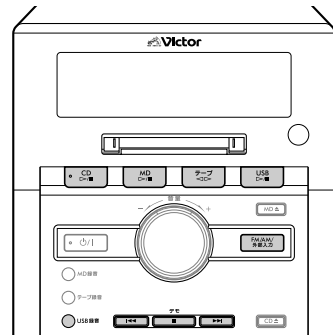
ご注意

録音中は USB ケーブルまたは接続機器を抜かないでください。

お知らせ

- プロテクト機能付きの場合は、解除してから接続してください。
- すべての機器について動作を保証するものではありません。
- 「録音可能な組み合わせ一覧」(➡29 ページ）もご覧ください。

USB 機器への録音について

- USB 機器には、最大 2000 ファイルまで録音できます（1 つのグループのファイル数は最大 999 です）。それ以上録音しようとすると「TRACK FULL」と表示されます。
- USB 機器には、最大 999 グループまで作ることができます。それ以上録音しようとすると「GROUP FULL」が表示されます。
- MD や MP3/WMA が収録されているディスクから録音すると、タイトル名（タイトル名がついているときのみ）・ファイル名がコピーされ、そのあとに拡張子がつきます。ただしファイル名やグループ名に半角英数字または半角カタカナ以外の文字が使用されていると、正しく表示されません。
- 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- 音楽 CD の音声はデジタル信号のまま録音されます。ラジオ、外部入力端子の音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
  – アナログ信号で録音することもできます。「CD-R/CD-RW からの録音」(➡35 ページ）をご覧ください。
- 当社製デジタルオーディオプレーヤーアルネオ（XA-V シリーズ、XA-C シリーズ）に録音するときは、録音先として以下のいずれかのグループを選んでください（35 ページの手順 8 ／ 36 ページの手順 5)。これ以外のグループを選ぶと、録音した曲をアルネオで再生することができません。
  –「Music」
  –「Music」の中にあるグループ
  –「FORM GR?」で新しく作成したグループ
- USB 機器の録音空き時間が 100 時間以上ある場合は、本機の表示窓に録音空き時間が正しく表示されません。

録音先の準備をする

USB 機器を本機の USB 端子に接続します。(➡ 20 ページ)

USB 機器の録音空き時間を確認する

USB 以外のソース（音源）を選び、［表示 / 文字］をくり返し押して「USB REMAIN」を表示させます。

ディスク（CD）/MD から USB 機器に録音する

お知らせ

- 高速録音では CD を高速で回転させるため、CD の状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。このようなときは、等速で録音してください。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。
- MD から USB 機器への高速録音はできません。

1 録音用の USB 機器を準備する

- 「録音先の準備をする」（➡ 33 ページ）をご覧ください。

2 [CD ▶/II] または [MD ▶/II] を押して録音元のソース（音源）に切り換える

CD ▶/II　MD ▶/II

3 [■] を押して停止する

4 録音モードを設定をする

[録音モード] をくり返し押して設定する項目を選び、[I◀◀] または [▶▶I] を押して設定を選びます。

USB ENCODE（エンコード）: ファイルタイプの選択

MP3	MP3 で録音します。
WMA	WMA で録音します。

USB REC TIME: 録音品質の選択

- 「USB ENCODE」で「MP3」を選んだ場合

LP 64 (LP)	録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。
SP 128 (SP)	標準的な音質で録音します。
HQ 192 (HQ)	高音質で録音します。「SP128」、「LP 64」に比べて録音できる曲数は少なくなります。 • 「HQ 192」を選んだときは、手順５で録音スピードを「NORMAL」に設定してください。

- 「USB ENCODE」で「WMA」を選んだ場合

LP 64 (LP)	録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。
SP 96 (SP)	標準的な音質で録音します。
HQ 128 (HQ)	高音質で録音します。「SP96」、「LP 64」に比べて録音できる曲数は少なくなります。 • 「HQ 128」を選んだときは、手順５で録音スピードを「NORMAL」に設定してください。

5 音楽 CD から録音するとき：[録音スピード] を押して、録音スピードを選ぶ

- 押すごとに次のように切り換わります。

NORMAL	通常の速さで録音します。
HIGH	高速で録音します。（録音中は音声を聞くことができません。） MP3 – 録音モードが「LP64」のとき：４倍速 – 録音モードが「SP128」のとき：２倍速 – 録音モードが「HQ192」のとき：高速録音はできません。「NORMAL」を選んでください。 WMA – 録音モードが「LP64」/「SP96」のとき：２倍速 – 録音モードが「HQ128」のとき：高速録音はできません。「NORMAL」を選んでください。 • HIGH 表示が点灯します。

- プログラム録音（手順６参照）のときは「NORMAL」を選んでください。
- 音楽ファイルの高速録音はできません。「NORMAL」「HIGH」どちらを選んでも等速でアナログ録音されます。
- MD からは高速録音はできません。そのまま手順６へ進んでください。

6 録音する曲を選ぶ

■ ディスク内の曲すべてを録音するとき（全曲録音）：
手順 7 に進みます。

■ 選択した 1 曲だけを録音するとき（1 曲録音）：

[I◀◀] または [▶▶I] を押して録音する曲を選び、[CD ▶/II] または [MD ▶/II] を押して再生します。

• 選んだ曲だけが曲の頭から録音されます。

■ ディスクの途中の曲から最後まで録音するとき：

[I◀◀] または [▶▶I] を押して最初に録音する曲を選びます。

■ プログラムして録音するとき（プログラム録音）：

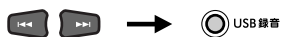
録音したい曲をプログラムして、プログラム再生モードにします。（➡ 22 ページ）

• 音楽 CD から録音する時は、手順5で録音スピードを「NORMAL」に設定してください。「HIGH」のときは「CANNOT REC NORMAL ONLY」と表示され、録音されません。

■ MD 内のあるグループの曲をすべて録音するとき：

[再生 /FM モード] をくり返し押して「GROUP」を選び、[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して録音したいグループを選びます。

7 本体の [USB 録音] を押す

8 録音する先のグループを選び、録音を始める

■ すでにあるグループに録音するとき：

[I◀◀] または [▶▶I] を押して録音したいグループを選び、[USB 録音] を押します。

録音が始まります。

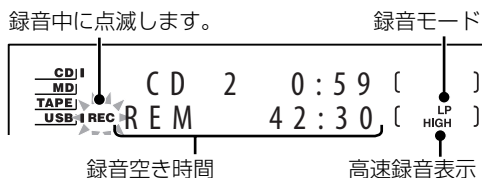
■ 新しいグループを作って録音するとき：

①[I◀◀] または [▶▶I] を押して「FORM GR?」を選び、[SET] を押す

新しいグループが作成され、グループタイトルを入力することができます。「文字入力のしかた」（➡ 40 ページ）をご覧ください。

• 「FORM GR?」を選んだ後に [USB 録音] を押しても録音が始まります。この場合グループタイトルはつきません。

②[ENTER] を押す

録音が始まります。

• 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

録音をやめるには

[■] を押します。

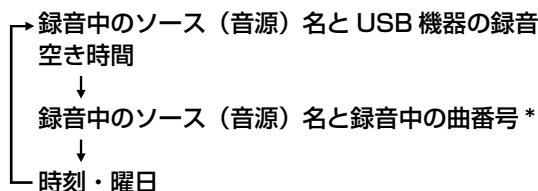
CD-R/CD-RW からの録音

CD-R/CD-RW の音声を録音するとき、本機の表示窓に「SCMS CANNOT COPY」と表示され、デジタル録音ができないことがあります。
このようなときは、録音スピードで「NORMAL」（等速）のモードを選び（➡ 34 ページ手順5）、手順7で本体の [USB 録音] を 4 秒以上押し続けます。「ANALOG REC?」が表示されたら、再度 [USB 録音] を押してください。アナログで録音されます。

表示を切り換える

[表示 / 文字] を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

→ 録音中のソース（音源）名と USB 機器の録音空き時間
↓
録音中のソース（音源）名と録音中の曲番号 *
↓
時刻・曜日

* グループ録音をしているときは、グループ番号も表示されます。

ラジオ / テープ / 外部機器から USB 機器に録音する

1 録音先のソース（音源）を準備する

- 「録音先の準備をする」（➡ 33 ページ）をご覧ください。

2 録音元のソース（音源）に切り換え、録音の準備をする

■ ラジオ放送を録音するとき：
録音したい放送局を選びます。(➡16 ページ)

■ テープから録音するとき：
ソース（音源）を「TAPE」に切り換え、録音する曲の頭出しをします。(➡27 ページ)

■ 外部機器から録音するとき：
ソース（音源）を「LINE」に切り換え、録音する機器の再生の準備をします。(➡28 ページ)

3 録音モードを設定をする

[録音モード] をくり返し押して設定する項目を選び、[I◀◀] または [▶▶I] を押して設定を選びます。

USB ENCODE（エンコード）: ファイルタイプの選択

MP3	MP3 で録音します。
WMA	WMA で録音します。

USB TRK INC.: トラックマークのつけかたの設定

MANUAL	手動でトラックマークをつけます。（お買い上げ時の設定） • トラックマークをつけるには、録音中に [SET] を押します。
TIME	5 分間隔でトラックマークがつきます。
AUTO	音が無い状態が 3 秒以上続くと、トラックマークがつきます。

USB REC TIME: 録音品質の選択

- 「USB ENCODE」で「MP3」を選んだ場合

LP 64 (LP)	録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。
SP 128 (SP)	標準的な音質で録音します。
HQ 192 (HQ)	高音質で録音します。「SP128」、「LP 64」に比べて録音できる曲数は少なくなります。

- 「USB ENCODE」で「WMA」を選んだ場合

LP 64 (LP)	録音できる曲数が多くなりますが音質は劣ります。
SP 96 (SP)	標準的な音質で録音します。
HQ 128 (HQ)	高音質で録音します。「SP96」、「LP 64」に比べて録音できる曲数は少なくなります。

4 本体の [USB 録音] を押す

5 録音する先のグループを選び、録音を始める

■ すでにあるグループに録音するとき：

[I◀◀] または [▶▶I] を押して録音したいグループを選び、[USB 録音] を押します。

録音が始まります。

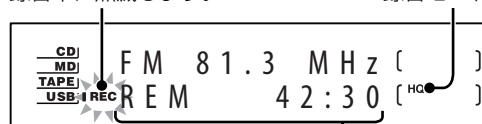
■ 新しいグループを作って録音するとき：

①[I◀◀] または [▶▶I] を押して「FORM GR?」を選び、[SET] を押す

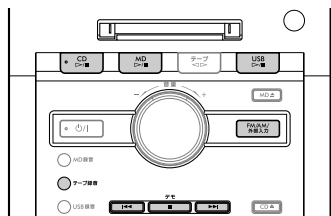
新しいグループが作成され、グループタイトルを入力することができます。「文字入力のしかた」(➡ 40 ページ) をご覧ください。

- 「FORM GR?」を選んだ後に [USB 録音] を押しても録音が始まります。この場合グループタイトルはつきません。

②[ENTER] を押す
録音が始まります。

- 外部機器から録音する場合は、録音空き時間が表示されたら、接続した機器の再生を始めてください。音声が入力されると、録音が自動的に始まります（サウンドシンクロ録音）。ソース（音源）の音声が 30 秒以上途切れると、自動的に録音が終了します。
- [USB ▶/II] を押して録音を始めることもできます。この場合はソース（音源）の音声が 30 秒以上途切れても自動的に停止しません。
- 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

録音をやめるには

[■] を押します。

テープに録音する

テープへの録音について

- 録音レベルは自動で調節されます。
- 「録音可能な組み合わせ一覧」(➡29 ページ)もご覧ください。

録音できるテープについて

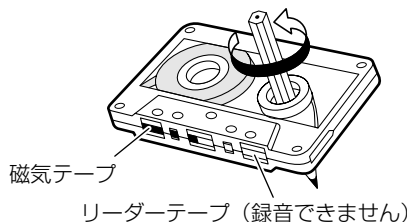
ノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

- C-120 や C-150 などの長時間テープは使用しないでください。テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。
- 本機はハイポジション(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)に対応していません。

1 録音用のテープをカセットホルダーに入れる (➡ 26 ページ)

- リーダーテープの部分は巻き取ってから本体に入れてください。

2 [リバースモード] をくり返し押して、リバースモードを選ぶ

リバースモード

- 押すごとに次のように切り換わります。

	片面にのみ録音します。
	おもて面からうら面へ往復録音するとき
	録音を開始すると自動的に「」に切り換わります。

3 録音元のソース(音源)に切り換え、録音の準備をする

■ ディスク、MD または USB 機器から録音するとき:
[CD ▶/❚❚]、[MD ▶/❚❚] または [USB ▶/❚❚] を押して録音元のソース(音源)に切り換え、[■] を押して停止するか、もう一度 [▶/❚❚] を押して一時停止します。
手順 4 に進みます。

- ディスク・MD や USB 機器の曲を停止状態から録音中に、曲の途中でテープが反転したときは、再生中の曲がもう一度頭から、うら面に録音されます。
- ディスク・MD や USB 機器の曲を一時停止状態から録音中に、曲の途中でテープが反転したときは、録音は継続されます。この場合、リーダーテープの部分は録音が途切れます。講演会やライブ演奏など、1 曲が長い場合に便利な録音方法です。

■ ラジオ放送を録音するとき:
録音したい放送局を選びます。(➡16ページ)
手順 5 に進みます。

■ 外部機器から録音するとき:
ソース(音源)を「LINE」に切り換え、録音する機器の再生の準備をします。
(➡28 ページ)
手順 5 に進みます。

(次ページへ続く)

4 ディスク（CD）、MD または USB 機器から録音するときは、録音する曲を選ぶ

■ ディスク、MD または USB 機器の中の曲すべてを録音するとき（全曲録音）：
手順 5 に進みます。

■ 選択した 1 曲だけを録音するとき（1 曲録音）：
[|◀◀] または [▶▶|] を押して録音する曲を選び、[CD ▶/II]、[MD ▶/II] または [USB ▶/II] を押して再生します。

- 選んだ曲だけが曲の頭から録音されます。

■ ディスクの途中の曲から最後まで録音するとき：
[|◀◀] または [▶▶|] を押して最初に録音する曲を選びます。

■ ディスク内の曲をプログラムして録音するとき（プログラム録音）：
録音したい曲をプログラムして、プログラム再生モードにします。（➡ 22、23 ページ）

5 本体の [テープ録音] を押す

テープ録音

録音が始まります。
- 外部機器から録音する場合は、接続した機器の再生を始めてください。
- 録音が終了すると、表示窓が赤色に変化してお知らせします。

録音をやめるには

[■] を押します。

録音済みのテープの音を消す

手順 1 と 2 を行い、ソース（音源）を「LINE」に切り換え、本体の [テープ録音] を押す

- 外部入力端子に接続した機器は再生しないでください。

表示を切り換える

- ディスク /MD/USB 機器から録音中

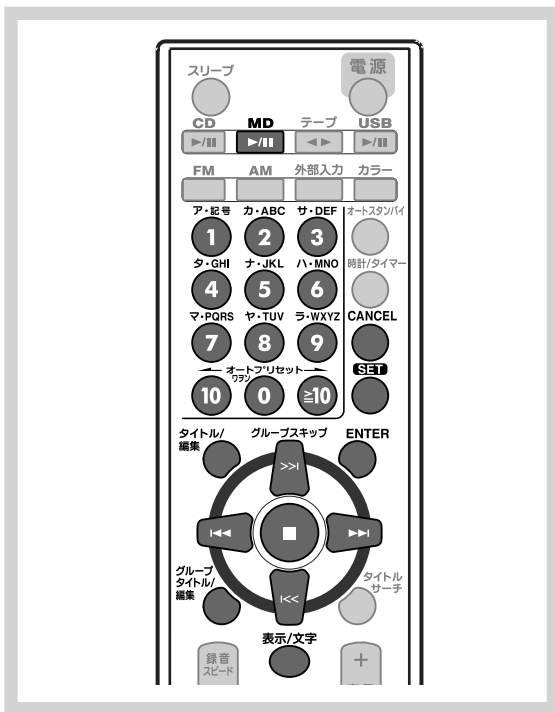
録音中の曲の再生経過時間
↓
録音中の曲番号・グループ番号
↓
時刻・曜日

- ラジオ放送を録音中

録音中のラジオ放送の周波数
↕
時刻・曜日

- 外部入力端子に接続した機器の音声を録音中

表示なし
（録音元 / 録音先の再生表示と録音表示が点灯します）
↕
時刻・曜日

MD の曲情報を変更する

MD のタイトルをつける

MD のディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

- プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中はタイトルの入力ができません。
- 曲を選ぶとき、数字ボタンを押して直接選ぶこともできます。
  - 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。
- タイトル編集の途中で [CANCEL] を押すと、前の手順に戻ります。**[タイトル / 編集]** または **[グループタイトル / 編集]** を押すと編集を中止します。

1 [MD ►/II] を押す

- 曲の再生を聞かない場合は [■] を押して再生を停止します。

2 編集する項目を選ぶ

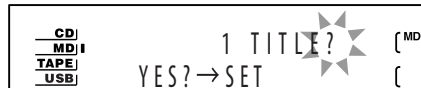
■ ディスクタイトルを編集するとき

[タイトル / 編集] をくり返し押して、「DISC TITLE?」を表示させます。

- 再生中はディスクタイトルを編集できません。再生を停止してください。

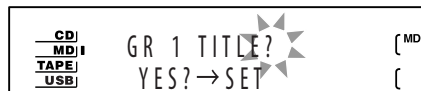
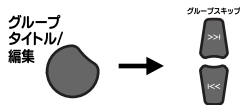
DISC TITLE?
YES?→SET

■ 曲タイトルを編集するとき

[タイトル / 編集] をくり返し押して「1 TITLE?」を表示させ、[I◄◄] または [►►I] を押して曲を選びます。

1 TITLE?
YES?→SET

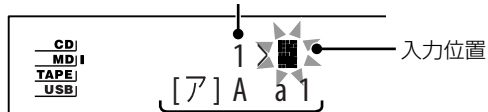
■ グループタイトルを編集するとき

[グループタイトル / 編集] をくり返し押して「GR 1 TITLE?」を表示させ、[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押してグループを選びます。

- グループ分けされていないときは、「GR 1 TITLE?」は表示されません。

3 [SET] を押す

タイトルが入力できるようになります。

4 タイトルを入力する

曲タイトル入力時：曲番号
グループタイトル入力時：グループタイトル

入力される文字の種類（➡40 ページ）

- 文字の入力については、「文字入力のしかた」（➡40 ページ）をご覧ください。

5 [ENTER] を押す

名前が変更されます。

- 続けて次の曲 / グループにタイトルをつける場合は手順 2 に戻ります。

録音する
編集する

（次ページへ続く）

6 [CANCEL] を押す

CANCEL

タイトルの変更を終了します。
- タイトルの編集が終了すると「EDITING」と表示されます。その後「WRITING」と点滅し、編集した内容が MD に記録されます。
- 「WRITING」と点滅している間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 本体の [MD ≜] を押して MD を取り出してください。

お知らせ

- MD1 枚に入力できる文字数は 1792 文字（タイトル名は最大 61 文字）です。MD の録音方式の制約により、実際に入力できる文字数はこれより少なくなります。
  最大文字入力数を超える曲情報は、本機では表示・編集できません。曲情報を入力した機器などで編集してください。
- MD に入力できる文字数について
  – カタカナは 1 文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、空白スペースは文字と同じデータ量を必要とします。
  – MD の録音設定で「LP：」が「ON」に設定されていると、タイトルの前に「LP:」が自動でつき、「LP:」も文字数として数えらます。このため、「LP：」のつく曲数が多くなると、入力できる文字数は少なくなります。「LP:」はつけない設定にすることもできます。（➡ 31、32 ページ）
  例：LP2 または LP4 で 120 曲録音した MD：
  全曲に英数字で入力できる文字数は 10 文字です。
  LP2 または LP4 で 60 曲録音した MD：
  全曲にカタカナで入力できる文字数は 10 文字です。
- 録音中にも、タイトルをつけることができます。
  – ディスク、USB 機器の録音中（1 曲録音は除く）は、16 曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます (タイトルリザーブ機能)。
  – 録音が終了するまでに [ENTER] が押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
  – グループ録音中は、そのグループのタイトルを入力できます。

文字入力のしかた

入力する文字の種類を切り換えるには

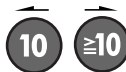
[表示 / 文字] をくり返し押します。

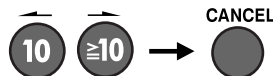
押すごとに、次のように切り換わります。

[ア]	カタカナ
[A]	英大文字・記号
[a]	英小文字・記号
[1]	数字

- [　] で囲われている文字の種類が現在入力できる文字です。

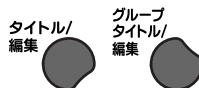
入力位置を移動するには

[–◂–] または [–▸–] を押して、入力位置を移動します。

文字を削除または追加するには

■ 1 文字消去：
[–◂–] または [–▸–] を押して、消したい文字に入力位置を移動して、[CANCEL] を押します。

■ 全文字消去：
[CANCEL] を文字が消えるまでくり返し押す

■ 今ある名前に文字を追加する
[–▸–] を押して、追加する場所まで入力位置を移動して文字を入力する

文字の入力をやめるには

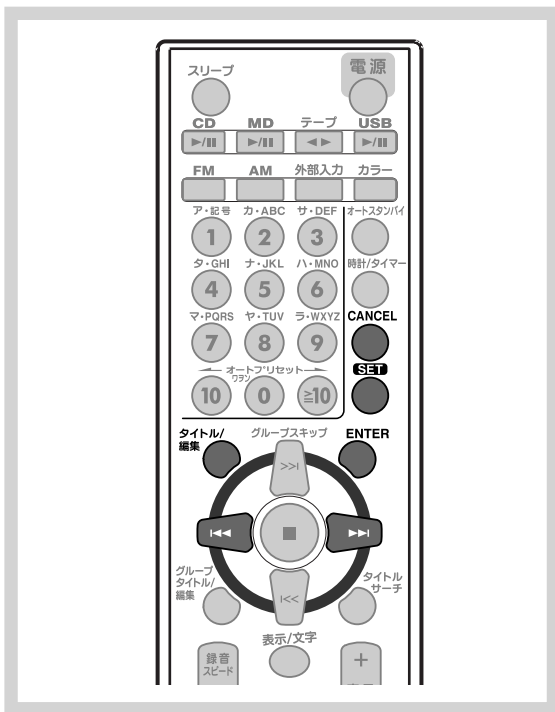
[タイトル / 編集] または [グループタイトル / 編集] を押します。

- 入力した内容は取り消されます。

入力できる文字

数字ボタンを押すと、対応する文字が入力されます。

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオ ァィゥェォ	各種記号： 空白スペース（□） ! " # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; ＜ ＝ ＞ ? @ _ `		1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテト	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
オートプリセット ワヲン 0	ワヲン ゛ ゜ ー	(なし)	(なし)	0

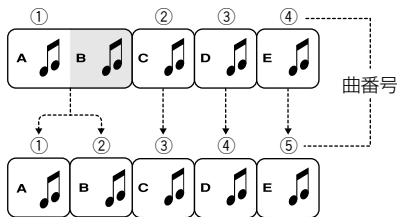
- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字だけに入力できます。
- ■のついた文字は USB 機器の編集（➡ 48 ページ）では入力できません。

MD の曲を編集する

- MD を編集するときは、ソース（音源）を「MD」にしてから操作をしてください。
- 編集の途中で [CANCEL] を押すと、前の手順に戻れます。[タイトル / 編集] を押すと編集を中止します。
- 曲を選ぶとき、数字ボタンを押して直接選ぶこともできます。
  – 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

MD の編集について

- 編集が終了すると「EDITING」と表示されます。その後「WRITING」と点滅し、編集した内容が MD に記録されます。
- 「WRITING」と点滅している間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中はタイトルの入力ができません。

曲を 2 つに分ける (DIVIDE)

例：1 曲目を分けた場合

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「DIVIDE?」を選び、[SET] を押す

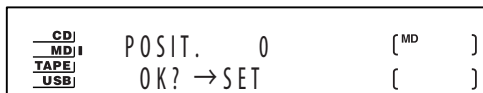
- MD が停止中のときは、1 曲目の再生が始まります。

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、分けたい曲を選ぶ

3 [▶▶|] を押し続けて、分けたいところまで早送りする

4 分けたいところで [SET] を押す

押したところから 4 秒分がくり返し再生されます。

```
CD MD TAPE USB   POSIT.    0
                  OK? →SET
```

5 [|◀◀] または [▶▶|] を押して分けたいところを微調節する

- ± 128 ポジション (SP：標準モードで約± 8 秒) の範囲で分ける位置の微調節ができます。

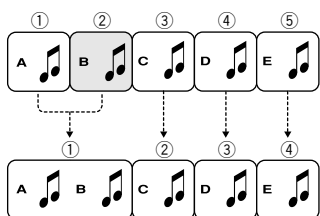
6 [SET] を押す

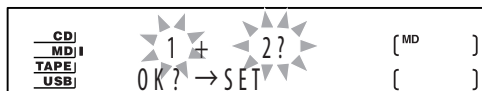
7 [ENTER] を押す

お知らせ

- 254 曲録音してある MD の場合、「DIVIDE ?」は選べません。
- 曲にタイトルがついているときは、分けた曲両方に同じタイトルがつきます。

曲をつなげる (JOIN)

隣合う2つの曲をつなげることができます。
例：1 曲目と 2 曲目をつなげた場合

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「JOIN?」を選び、[SET] を押す

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、つなげたい曲の組み合わせを選ぶ

- 表示は「1 ＋ 2 ?」「2 ＋ 3 ?」のように変わります。1 つ前の曲とつなげることができます。

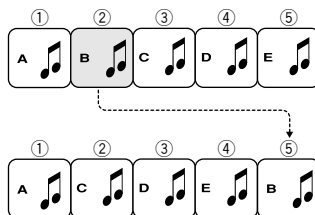
3 [SET] を押す

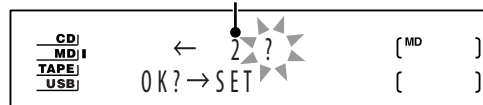
4 [ENTER] を押す

お知らせ

- MDLP モード (SP/LP2/LP4) の異なる曲、デジタル録音した曲（CD）とアナログ録音した曲（ラジオ放送など）をつなげることはできません。「MD の制約について」（➡ 55 ページ）をご覧ください。
- 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

曲を並べ替える (MOVE)

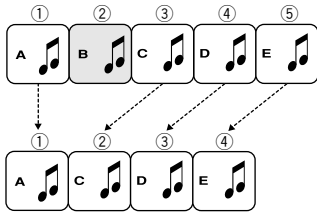
例：2 曲目を移動した場合

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「MOVE?」を選び、[SET] を押す

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、並べ替えたい曲番号を選び [SET] を押す

3 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、移動先の曲番号を選び [SET] を押す

移動先の曲番号

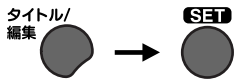
- 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。

4 [ENTER] を押す

曲を削除する（ERASE）

例：2 曲目を削除した場合

ご注意

一度削除した曲は戻すことができません

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「ERASE?」を選び、[SET] を押す

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、削除したい曲番号を選び [SET] を押す

- 曲番号の前に「√」がつきます。「√」のついている曲が削除されます。
- 「√」をはずすには [CANCEL] を押します。
- この操作をくり返して 15 曲まで削除する曲を選ぶことができます。16 曲目を選んで [SET] を押すと、「MEMORY FULL」と表示されます。

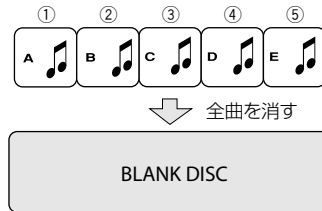
3 [ENTER] を押す

削除確認画面が表示されます。

4 [ENTER] を押する

選んだ曲が削除されます。

全曲を削除する（ALL ERASE）

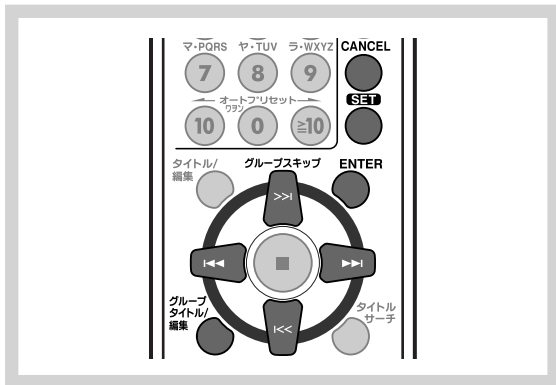
ご注意

一度削除した曲は戻すことができません

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「ALL ERASE?」を選び、[SET] を押す

削除確認画面が表示されます。

2 [ENTER] を押す

すべての曲が削除されます。

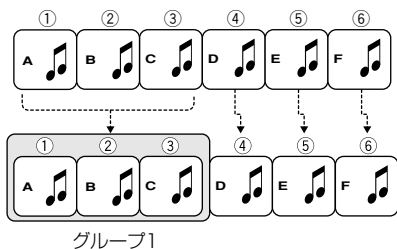
MD のグループを編集する

- MD を編集するときは、ソース（音源）を「MD」にしてから操作をしてください。
- 編集の途中で [CANCEL] を押すと、前の手順に戻れます。[グループタイトル / 編集] を押すと編集を中止します。
- グループを選ぶとき、数字ボタンを押して直接選ぶこともできます。
  – 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

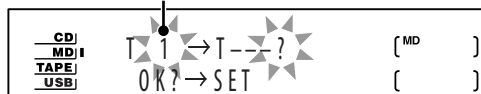
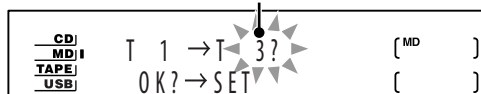
MD のグループ編集について

- 曲（トラック）を最大 99 のグループに分けて管理することができます。
- 編集が終了すると「EDITING」と表示されます。その後「WRITING」と点滅し、編集した内容が MD に記録されます。
- 「WRITING」と点滅している間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

グループをつくる（FORM GR）

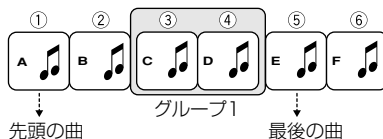
曲をまとめてグループにできます。グループにできるのは、どのグループにも登録されていない連続した曲です。

例：1 曲目から 3 曲目までをグループにした場合

1 [グループタイトル / 編集] をくり返し押して「FORM GR?」を選び、[SET] を押す

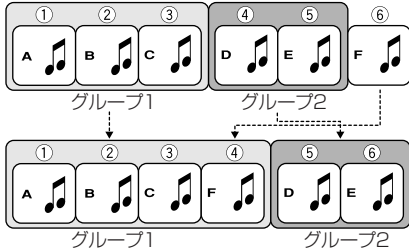
2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、グループの先頭にする曲を選び [SET] を押す

3 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、グループの最後にする曲を選ぶ

4 [SET] を押す

5 [ENTER] を押す

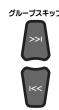
お知らせ

- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM ！」と表示され、次の手順に進めません。

- すでに、99 グループに分かれているときは、「FORM GR」は表示されません。

グループに曲を追加する（ENTRY GR）

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。
例：6 曲目をグループ 1 に追加した場合

1 **[グループタイトル / 編集] をくり返し押して「ENTRY GR?」を選び、[SET] を押す**

2 **[|◀◀] または [▶▶|] を押して追加したい曲を選び、[SET] を押す**

3 **[グループスキップ >>|] または [グループスキップ |<<] を押して、登録先のグループを選ぶ**

- 選んだグループ番号が点滅します。

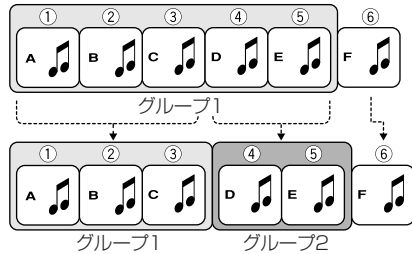
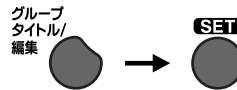
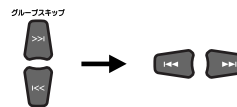
4 **[SET] を押す**

5 **[ENTER] を押す**

お知らせ

すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、次の手順に進めません。登録するグループを選び直してください。

グループを 2 つに分ける（DIVIDE GR）

例：グループ 1 を 2 つに分けた場合

1 **[グループタイトル / 編集] をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選び、[SET] を押す**

2 **[グループスキップ >>|] または [グループスキップ |<<] を押して分けるグループを選び、[|◀◀] または [▶▶|] を押してどの曲から分けるかを選ぶ**

- グループの先頭の曲を選んだときは、次の手順に進めません。

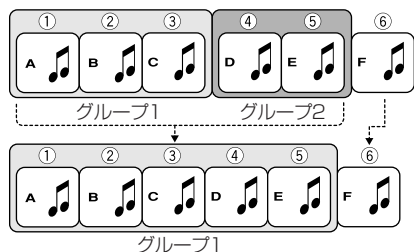
3 **[SET] を押す**

4 **[ENTER] を押す**

お知らせ

グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

グループをつなげる（JOIN GR）

となりあう 2 つのグループを 1 つのグループにつなげることができます。
例：グループ 1 とグループ 2 をつなげた場合

1 [グループタイトル / 編集] をくり返し押して「JOIN GR?」を選び、[SET] を押す

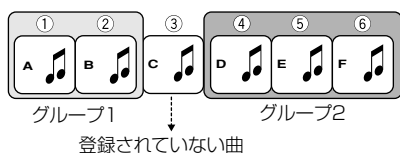
2 [グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して、つなげるグループを選ぶ

- 連続するグループ番号が表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。

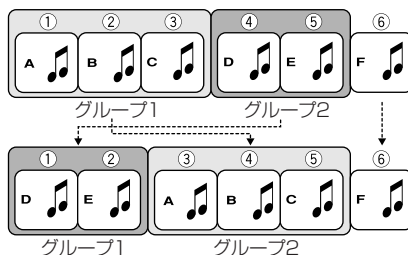
3 [SET] を押す

4 [ENTER] を押す

お知らせ

- 2 つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。「CANNOT JOIN」と表示され、前の手順に戻ります。

- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。

グループを並べ替える（MOVE GR）

例：グループ 2 を移動した場合

1 [グループタイトル / 編集] をくり返し押して「MOVE GR?」を選び、[SET] を押す

2 [グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して、並べ替えたいグループを選ぶ

3 [SET] を押す

4 [グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して、移動先のグループを選ぶ

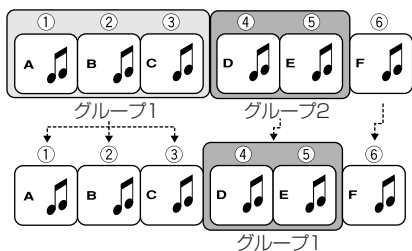
移動先のグループ番号

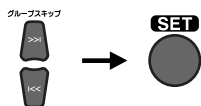
5 [SET] を押す

6 [ENTER] を押す

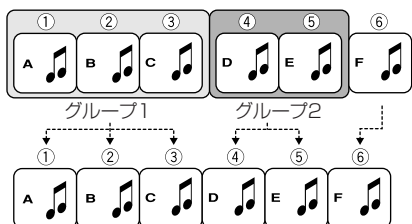
グループを解除する(UNGROUP)

指定したグループを解除する

例：グループ 1 を解除した場合

1 **[グループタイトル / 編集] をくり返し押して「UNGROUP?」を選び、[SET] を押す**

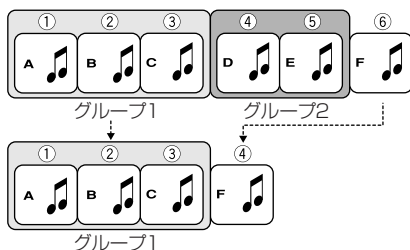
2 **[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して解除したいグループを選び、[SET] を押す**

3 **[ENTER] を押す**

全てのグループを一度に解除する

例：全グループを解除した場合

1 **[グループタイトル / 編集] をくり返し押して「UNGR ALL?」を選び、[SET] を押す**

2 **[ENTER] を押す**

グループを削除する (ERASE GR)

グループと、そのグループ内の曲を削除します。
例：グループ 2 を削除した場合

ご注意
一度消した曲は戻すことができません。

1 **[グループタイトル / 編集] をくり返し押して「ERASE GR?」を選び、[SET] を押す**

2 **[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して消したいグループを選ぶ**

3 **[SET] を押す**

4 **[ENTER] を押す**
選んだグループが削除されます。

USB 機器の曲・グループを編集する

- USB 機器の曲やグループを編集するときは、ソース（音源）を USB にしてから操作をしてください。
- 編集の途中で [CANCEL] を押すと、前の手順に戻れます。**[タイトル / 編集]** または **[グループタイトル / 編集]** を押すと編集を中止します。
- 曲を選ぶとき、数字ボタンを押して直接選ぶこともできます。
  – 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

USB 機器の曲・グループの編集について

- 編集が終了すると「EDITING」と表示されます。その後「WRITING」と点滅し、編集した内容が USB 機器に記録されます。
- 「WRITING」と点滅している間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- プログラム再生中、ランダム再生中、グループ再生中はタイトルの入力ができません。

曲のタイトルを編集する
（TITLE）

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「1 TITLE?」を選ぶ

- 「1」の部分はトラック番号です。

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、編集したい曲番号を選び [SET] を押す

3 タイトルを入力する

- 「文字入力のしかた」（➡40 ページ）をご覧ください。

4 [ENTER] を押す

名前が変更されます。
- 続けて次の曲にタイトルをつける場合は手順 2 に戻ります。

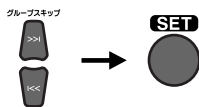
5 [CANCEL] を押す

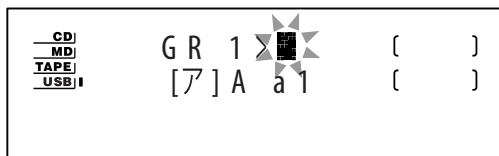
タイトルの変更を終了します。

グループのタイトルを編集する (GR TITLE)

1 [グループタイトル / 編集] をくり返し押して「GR 1 TITLE?」を選ぶ

- 「1」の部分はグループ番号です。

2 [グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して、編集したいグループを選び [SET] を押す

3 グループタイトルを入力する

- 「文字入力のしかた」（➡40 ページ）をご覧ください。

4 [ENTER] を押す

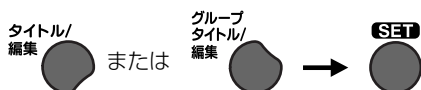
お知らせ

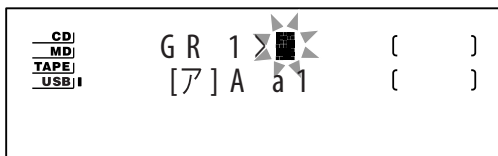
グループ「Music」と「ROOT」のタイトルは変更できません。

グループをつくる (FORM GR)

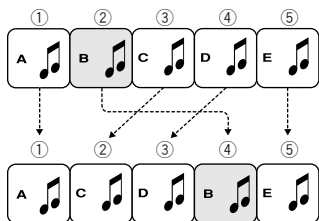
新しく空のグループを作ります。

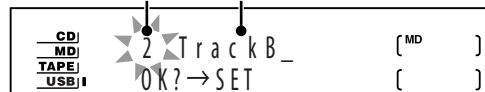
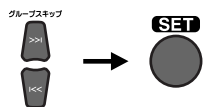
- 空のグループは、曲を録音したり移動したりする時に選択できます。
- 録音または編集以外の操作時は、空のグループを選んだり確認することはできません。
- 新しいグループは「Music」の中に作られます。

1 [タイトル / 編集] または [グループタイトル / 編集] をくり返し押して「FORM GR?」を選び、[SET] を押す

2 作成するグループのタイトルを入力する

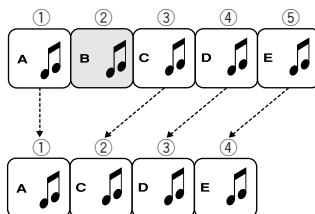
- 「文字入力のしかた」（➡40 ページ）をご覧ください。
- タイトルを入力せずに次に進むと、グループタイトルが空白のグループができます。

3 [ENTER] を押す

曲を並べ替える (MOVE)

例：2 曲目を移動した場合

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「MOVE?」を選び、[SET] を押す

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、並べ替えたい曲番号を選び [SET] を押す

3 [グループスキップ >>|] または [グループスキップ |<<] を押して、移動先のグループを選び [SET] を押す

4 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、移動先の曲番号を選び [SET] を押す

5 [ENTER] を押す

曲を削除する (ERASE)

例：2 曲目を削除した場合

ご注意

一度削除した曲は戻すことができません。

1 [タイトル / 編集] をくり返し押して「ERASE?」を選び、[SET] を押す

2 [|◀◀] または [▶▶|] を押して、削除したい曲番号を選び [SET] を押す

- 曲番号·曲タイトルの後に「√」がつきます。「√」のついている曲が削除されます。
- 「√」をはずすには [CANCEL] を押します。
- この操作をくり返して 15 曲まで削除する曲を選ぶことができます。16 曲目を選んで [SET] を押すと、「MEMORY FULL」と表示されます。

3 [ENTER] を押す

削除確認画面が表示されます。

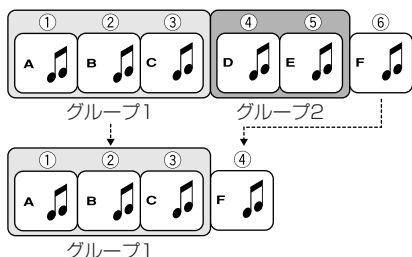
4 [ENTER] を押す

選んだ曲が削除されます。

お知らせ

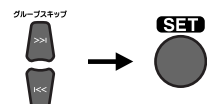
グループ内のすべての曲を削除しても、グループは空のグループとして残ります

グループを削除する（ERASE GR）

ご注意

一度削除した曲は戻すことができません。

1 **[グループタイトル / 編集] をくり返し押して「ERASE GR?」を選び、[SET] を押す**

削除確認画面が表示されます。

2 **[グループスキップ >>I] または [グループスキップ I<<] を押して、削除したいグループを選び [SET] を押す**

3 **[ENTER] を押す**

選んだフォルダが削除されます。

お知らせ

MP3、WMA、WAV 形式以外のファイルが入っているグループの場合、これら３種類のファイルのみが削除され、それ以外のファイルとグループ自体は削除されません。

初期化する（FORMAT）

ご注意

USB 接続機器を初期化すると、本機から録音した音楽ファイルだけでなく、収録されているすべてのファイルが削除されます。
一度初期化すると、削除されたファイルは元に戻すことができません。特に、USB マスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーの場合、本機で初期化することで、正しく再生できなくなる場合があります。ご注意ください。

- 本機で「USB NO DATA」と表示されても、音楽ファイル以外のデータが収録されている場合があります。USB 接続機器を初期化するときは、よくご確認ください。

1 **[タイトル / 編集] をくり返し押して「FORMAT?」を選び、[SET] を押す**

2 **[ENTER] を押す**

削除確認画面が表示されます。

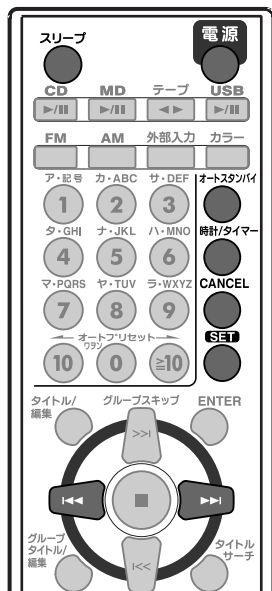
3 **[SET] を押す**

4 **[ENTER] を押す**

USB 接続機器が初期化され、曲がすべて削除されます。
- フォーマット後、空のグループ「Music」が自動的に作成されます。

タイマーを使う

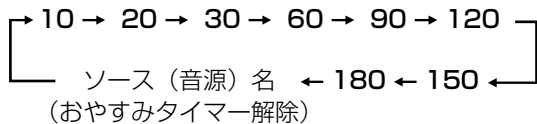
本機には、おやすみタイマー、再生タイマー、録音タイマーの 3 種類のタイマーがあります。おやすみタイマー 1 件、再生タイマーと録音タイマーは合わせて 3 件設定できます。

タイマー操作をする前に
時計を合わせておいてください。(➡ 13 ページ)

おやすみタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます。

[スリープ] を押す

押すごとに、時間（単位：分）が次のように切り換わります。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180 → ソース（音源）名（おやすみタイマー解除）→ 10

- おやすみタイマーを設定すると SLEEP 表示が点灯します。

お知らせ

おやすみタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。（オートディマー機能）

設定した時間（残り時間）を確認するには

おやすみタイマーが設定された状態で、[**スリープ**] を 1 回押します。

設定した時間を変更するには

[**スリープ**] をくり返し押して時間を選び直します。

自動的に電源を切る（オートスタンバイ）

ラジオ（FM/AM）以外のソース（音源）のとき無音状態が 3 分以上続くと、自動的に電源が切れます。

[オートスタンバイ] を押す

オートスタンバイ

表示窓に「A. STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STANDBY 表示が点灯します。

- 再生 / 録音の終了後や無音状態になると A. STANDBY 表示が点滅します。
  電源が切れる 20 秒前になると「A. STANDBY OFF」が点滅します。

オートスタンバイを解除するには

[**オートスタンバイ**] をもう一度押します。

- A. STANDBY 表示が消灯します。

お知らせ

- 再生 / 録音中は、オートスタンバイは動作しません。
- 外部入力端子に接続した機器の音声を聞いているとき、入力される音声信号レベルが小さいと、オートスタンバイ機能が働いて、音が聞こえていても電源が切れる場合があります。

録音タイマー / 再生タイマーを使う

指定した曜日・時刻に自動的に電源が入り録音を開始する「録音タイマー」と、再生を開始する「再生タイマー」がお使いいただけます。
録音タイマー、再生タイマー合わせて最大 3 件まで設定できます。
録音タイマーと再生タイマーは電源が切れているときのみ動作します。設定後は本機の電源を切ってください。

お知らせ

複数のタイマーを使う場合は、タイマーの終了時刻と開始時刻の間に6分以上間隔をあけて設定してください。

お知らせ

- 再生タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります。（ウェイクアップボリューム機能）
- 外部機器の音声を録音する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- タイマーの設定は、タイマー開始時刻の6分以上前に完了してください。
- 本機の時計は月に 1 分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。(➡ 13 ページ)特に、録音タイマーを設定する前は正確な時刻に合わせることをお勧めします。
- 最長録音可能時間は 23 時間 59 分です。
- 録音タイマーの動作中は、音量が「0」になります。音声を聞きたいときは音量を調節してください。
- タイマー設定中は [CANCEL] を押すと 1 つ前の設定に戻ります。

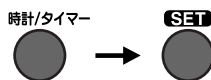
1 録音または再生するソース（音源）の準備をする

■ タイマー録音をするとき

MD に録音するとき	録音できる MD を入れる
USB メモリーに録音するとき	USB 機器を接続する (➡ 20 ページ)
テープに録音するとき	録音用のテープを入れる

■ タイマー再生をするとき

ディスク	ディスクを入れる
MD	MD を入れる
USB 機器	USB 機器を接続する
ラジオ	放送局をプリセットする (➡ 17 ページ)
テープ	テープを入れる
外部機器	接続した機器のタイマー設定をする

2 [時計 / タイマー] をくり返し押して「TIMER1」、「TIMER2」または「TIMER3」のいずれかを選び、[SET] を押す

例：「TIMER 1」を選んだとき

```
CD
MD   TIMER1→ SET        [MD   ]
TAPE OFF?→CANCEL        [     ]
USB
```

3 開始時刻・終了時刻・タイマー作動頻度・曜日を設定する

[|◀◀] または [▶▶|] を押して時刻や項目を選び、[SET] を押して決定します。

① **タイマー開始時刻の設定**
「時」と「分」を設定します。

② **タイマー終了時刻の設定**
「時」と「分」を設定します。

③ **タイマー作動頻度の設定**

ONCE	タイマーが 1 回動作すると解除されます。
WEEKLY	タイマーを解除するまで毎週動作します。

④ **曜日の設定**

Sun./Mon/Tue./Wed./Thu./Fri./Sat.	各曜日
Mon.—Fri.	月曜日～金曜日
Mon.—Sat.	月曜日～土曜日
Everyday	毎日

- 時刻の設定は、数字ボタンを押して設定することもできます。
  - 「数字ボタンの使いかた」(➡12 ページ)をご覧ください。

（次ページへ続く）

4 [⏮] または [⏭] を押してタイマーの種類を選び、[SET] を押す

PLAY TIMER	再生タイマー
REC TIMER	録音タイマー

5 録音または再生の設定をする

[⏮] または [⏭] を押して項目を選び、[SET] を押して決定します。

■ タイマー録音をするとき

① 録音元と録音先の設定

録音元	録音先
FM	→ MD
AM	→ MD
LINE	→ MD
FM	→ USB
AM	→ USB

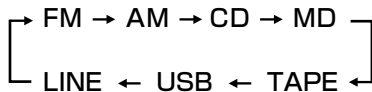
録音元	録音先
LINE	→ USB
FM	→ TAPE
AM	→ TAPE
LINE	→ TAPE

② ラジオ放送を録音するときのみ：受信する放送局のプリセット番号の選択

- 数字ボタンを押して設定することもできます。
  - 「数字ボタンの使いかた」（➡12 ページ）をご覧ください。

■ タイマー再生をするとき

① 再生ソース（音源）の選択

→ FM → AM → CD → MD ─┐
└ LINE ← USB ← TAPE ←┘

② 再生する曲、放送局の選択

- FM または AM のとき：受信する放送局のプリセット番号を選びます。
- 音楽 CD、MD のとき：再生したいトラック番号を選びます。
- MP3/WMA が収録されているディスク、USB 機器のとき：再生したいグループ番号とトラック番号を選びます。

③ 音量の調節

6 [電源](または本体の [⏻/I]) を押して、電源を「切」にする

- 再生タイマーを設定したとき：⏲（1、2 または 3）表示が点灯します。
- 録音タイマーを設定したとき：⏲（1、2 または 3）と REC 表示が点灯します。

リモコン

本体

お知らせ

録音タイマーを使って USB 機器に録音された曲は、「Music」フォルダ内の「TIMER」フォルダに保存されます。

再生 / 録音タイマーを解除するには

[時計 / タイマー] をくり返し押して、解除するタイマーを選び、[CANCEL] を押します。
- タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

MD のグループ録音の設定について

録音タイマーで MD に録音するとき、グループ録音の設定は、タイマーを設定する前または設定が終了してから行なってください。

ラジオまたは LINE のトラックマークの付けかたについて

録音タイマーで MD または USB 機器にラジオまたは外部機器を録音するときは、トラックマークの付けかたが選べます。
トラックマークの付けかたを変えるときは、録音タイマーの設定をする前か設定を終えてから行なってください（➡32、36 ページ）。

MD の制約について

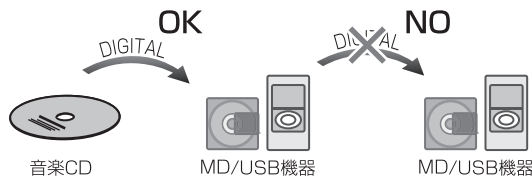
MD は、従来のカセットテープなどとは異なる独自の方式で情報を記録しています。この MD の記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症　状	原　因
MD に示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MD は時間に関係なく、録音できる曲数 (トラック数) に制限があります。曲 (トラック) 番号が 255 以上になる録音はできません。（録音可能な最大トラック数は 254 曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をした MD には、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて時間の短い部分（SP：8 秒以下、LP2：16 秒以下、LP4：32 秒以下）ができると、その曲は、「JOIN」（トラック結合）でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP 規格による録音 (MDLP) モードが異なる曲は、「JOIN」（トラック結合）でつなげることができません。デジタル録音した曲とアナログ録音した曲もつなげません。
「JOIN」（トラック結合）機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MD に表示された収録可能時間にならない。	MD は、最低でも SP モードで 12 秒間、LP2 モードで 24 秒間、LP4 モードで 48 秒間の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできた MD は、実際に録音できる時間は、短くなります。

シリアル　コピー　マネージメント　システム

SCMS (Serial Copy Management System)

CD のクリアな音を他のデジタル機器（MD、USB など）にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりを SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）といいます。シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは 1 世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03 － 5353 － 0336（代）

ご注意

- **この規定により一度デジタル録音された CD や MD からは、USB 機器、MD へデジタル録音することはできません。**
- **デジタル録音した CD-R/CD-RW ディスクは、MD にデジタル録音することができません。「SCMS CANNOT COPY」が表示されます。この場合アナログで録音してください（➡31 ページ）。**

高速録音に関して（HCMS）

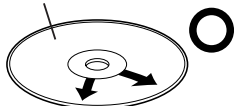
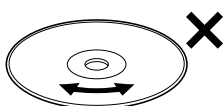
MD は標準を超えるスピードで録音することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。本機では、CD から一度高速録音した曲は、その曲の録音開始から 74 分が経過しないと、その曲の二度目の高速録音はできません。
例えば、CD の 1 曲目を高速録音した場合、高速録音が開始してから 74 分間は、その CD の 1 曲目を再び MD に高速で録音することはできません。また、CD から高速録音をする場合、録音開始から 74 分以内に合計で 101 曲以上録音することはできません。100 曲までの録音をすることができます。

ディスク /MD/ テープの取り扱いについて

CD の取り扱いかた

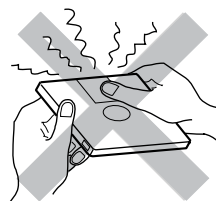
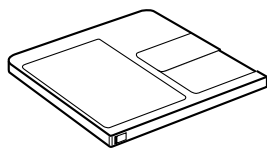
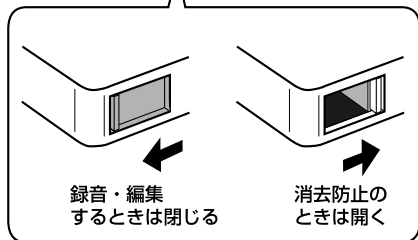
- CD にテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD（特殊形状の CD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CD のお手入れ

信号面

内側から外側へ柔らかい布でふく

連続したキズは音飛びの原因となります。

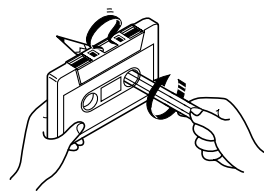
- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

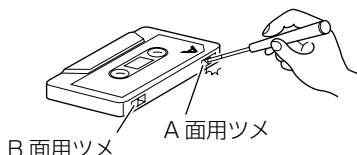
MD の取り扱いかた

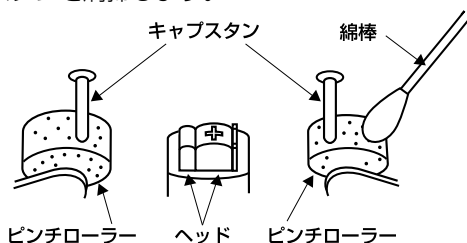
シャッターは開けないで
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

■ 大切な録音を消さないために
MD には、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。

お知らせ

曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に貼らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。

カセットテープの取り扱いかた

テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

■ 大切な録音を消さないために

- カセットテープには誤消去防止用のツメがついています。ツメを折っておくと録音（消去）ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

テープデッキのヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10 時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット（綿棒とクリーニング液）を使うと便利です。

MD/ ディスク /USB 機器のメッセージ

MD のメッセージ	意味	処置
BLANK DISC	未録音のディスクです。	—
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください (➡ 45 ページ)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください (➡ 44 ページ)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。（グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます）	それ以上のグループは作れません。（不要なディスク名や曲名は消してください）
CANNOT JOIN	MD のシステム上の制約です。(➡ 55 ページ)	—
CANNOT LISTEN!	高速録音中に音量を調節しようとした。	高速録音中は、CD の音は聞けません。
CANNOT TITLE	MD に合計 1792 文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が 254 を超える。	他の録音用 MD に取り換えてください (➡ 55 ページ)。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MD の誤消去防止つまみを閉じてください (➡ 56 ページ)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	[■]（停止）を押していったん停止してから、[**MD ⏏**]（取り出し）を押して MD を取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100 以上のグループを作ろうとした。	グループは 99 まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください (➡ 44 ページ)。
HCMS CANNOT COPY	高速で録音した曲を、その曲の録音開始から 74 分以内に再び高速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74 分以上待つか、または等速録音にしてください。
LOAD ERROR	MD の入れ方がおかしい。	MD を正しく入れてください。
MD NO DISC	MD が入っていない。	MD を入れてください。
PLAYBACK DISC	再生専用 MD に録音・編集しようとした。	録音用 MD に取り換えてください。
READ ERROR	MD の情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは MD の異常（損傷）が考えられます。MD を交換してください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW（デジタルオーディオ）のコピーを作ろうとした。	等速でアナログ録音してください（➡ 31 ページ)。
TRACK PROTECTED	Net MD のフォーマットで音楽データが記録された（チェックアウト）曲を DIVIDE、JOIN または消去をしようとした。	Net MDに対応した機器で操作してください。
	本機以外の機器によってその曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。

ディスクのメッセージ	意味	処置
CANNOT PLAY	再生できないディスクまたは傷の多いディスクを再生しようとした。	ディスクを交換してください。
CD NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
	ディスクが裏返しに入っている。	ディスクを正しく入れてください。

USB 機器のメッセージ	意味	処置
CANNOT ERASE	曲の削除ができない（データが壊れている可能性がある）。	電源を入れ直してください。
	USB 機器が書き込み禁止状態になっている。	USB 機器を書き込み可能な状態にしてください。
CANNOT REC NORMAL ONLY	高速録音ができない。	等速録音してください。
CANNOT TITLE	タイトル編集ができない（データが壊れている可能性がある）。	電源を入れ直してください。
DATA FULL	USB 機器の空き容量が足りない。	• 曲を削除してください。（➡50 ページ） • 他の録音用 USB 機器に変えてください。
	USB 機器が書き込み禁止状態になっている。	USB 機器を書き込み可能な状態にしてください。
DEVICE ERR.	本機では、再生 / 録音ができないUSB機器です。	他の録音用 USB 機器に変えてください。 • 本機で初期化（フォーマット）をすると、再生 / 録音ができるようになることもあります。ただし、初期化（フォーマット）すると全データが消去されます（➡51 ページ）。
FORMAT ERROR	フォーマット（初期化）できない（データが壊れている可能性がある）。	電源を入れ直してください。
	USB 機器が書き込み禁止状態になっている。	USB 機器を書き込み可能な状態にしてください。
NO USB	USB 機器が接続されていない。	USB 機器を接続してください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW（デジタルオーディオ）のコピーを作ろうとした。	アナログ録音してください（➡35 ページ）。
TRACK FULL	1 つのグループに 1000 以上のファイルを録音しようとした。	• 曲を削除してください。（➡50 ページ） • 他の録音用 USB 機器に変えてください。
TRACK PROTECTED	本機以外の機器によって、その曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集してください。
USB NO DATA	USB 機器に音楽ファイルが入っていません（音楽ファイル以外のデータが入っている可能性はあります）。	確認してください。

故障かな？と思う前に　ー修理を依頼する前に、お確かめください。ー

• ビクターホームページ（http://www.victor.co.jp/）から最新の製品 Q&A 情報をご覧いただけます。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
スピーカーから音が出ない。	接続をまちがえている。	電源コードをコンセントより抜いてから、スピーカーコードを正しく接続し直してください。	8
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	10
時刻表示が点滅している。	停電があった。または電源プラグを抜いた。	時計を合わせ直す。	13
ディスク /MD の再生が始まらない。	ディスクが裏返しに入っている。	文字のある面を上にして入れる。	19、20
	レンズが結露している。	電源を入れたまま 1 ～ 2 時間待ってから使う。	–
特定の箇所が正常に再生できない。	ディスクに傷や汚れがある。	CD をクリーニングするか、または交換する。	56
	MD にエラーが発生した。	MD を録音し直す。	29
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	56
MD またはテープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MD の誤消去防止つまみを閉じる。	56
		テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	56
放送が受信できない。	アンテナが接続されていない。	アンテナを接続する。	7
ブーンという雑音がでる。	テレビや OA 機器、携帯電話がそばにある。	テレビや OA 機器、携帯電話などから離す。	–
タイマーが働かない。	時計を合わせていない。	時計を合わせる。	13
	電源が入っている。	タイマー設定後、電源を切る。	54
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池（単４形）と交換する。	9
USB 機器の再生が G1（グループ番号）ではなく G2 から始まる。	本機で録音した場合のファイル管理の仕様によるものです。	通常は G1 にファイルが録音されず、G2 から再生が始まります。ただし、パソコンを使って USB 機器のルート (ROOT) にファイルを入れた場合は、G1 から再生します。	18

● 上記の処置をしても正しく動作しないときは…
本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっております。万一、雷や静電気等による動作の異常が発生したときやボタン類を押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

● 本機の故障または不測の事態により、録音・再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買上げの日から 1 年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（➡61 ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

59 ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	マイクロコンポーネント MD システム
型　　名	UX-Z2-B/UX-Z2-S
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社 (以下、当社) にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。
- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
【出張修理専門】のご相談窓口			
◎が付いている拠点については出張修理のご依頼、ご相談は下記の番号で承ります。			
出張修理受付センター		(0800)800-9928（フリーアクセス・ひかりワイド）※携帯電話・PHSなどからのご利用は、下記の番号へおかけ願います。	
		(047)305-7731	千葉県浦安市当代島二丁目13-27
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市西5条南28丁目1-1 有限会社オーイーエム内
東北			
青　森	青　森S.C.	(017)723-2261	青森市桂木四丁目6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪二丁目2-36
岩　手	盛　岡S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西二丁目3-20
秋　田	秋　田S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
宮　城	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山　形	山形S.S.	(023)642-0279	山形市松山三丁目12-18
福　島	郡　山S.C.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新　潟	◎新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長　野	◎長　野S.C.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
群　馬	◎前　橋S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃　木	◎宇都宮S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
千　葉 茨　城	◎千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	◎柏　　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
埼　玉	◎大　宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区大成町4丁目503
神奈川	◎横　浜S.C.	(045)450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	◎海老名S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷六丁目19-26
東　京 山　梨	◎東東京S.C.	(03)6381-8400	墨田区八広五丁目11-1石塚ビル1F
	◎大　田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	◎八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969-2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
CS センター		(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
静岡			
静　岡	静　岡S.C.	(054)204-0050	静岡市駿河区高松一丁目16-14

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海・北陸			
愛　知 岐　阜 三　重	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三　河S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
石　川 富　山 福　井	金　沢S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本4丁目65-17
近畿			
京　都 滋　賀	◎京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
兵　庫	◎神　戸S.C.	(078)652-4600	神戸市兵庫区北逆瀬川町1-6 北逆瀬川マンション1F
大　阪 奈　良 和歌山	◎大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
【業務用機器専門】のご相談窓口			
メンテナンスセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国			
岡　山	岡　山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広　島	福山S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町三丁目5-15
	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
山　口	山口S.S.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
山陰			
島　根	松　江S.C.	(0852)31-8900	松江市学園一丁目16-39
鳥　取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水一丁目22-1
四国			
香　川 徳　島 高　知 愛　媛	高　松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
九州・沖縄			
福　岡 佐　賀 長　崎 大　分 宮　崎	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
熊　本	熊　本S.C.	(096)353-4536	熊本市近見八丁目1-10
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖　縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0109

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

■ MD/CD レシーバー（CA-UXZ2-B/CA-UXZ2-S）

アンプ部

実用最大出力　20 W＋ 20 W (THD10%/4 Ω)
入力端子
　＜アナログ＞
　　LINE IN × 1
　　　500mV/47kΩ：LEVEL1
　　　250mV/47kΩ：LEVEL2
　　　125mV/47kΩ：LEVEL3
出力端子
　＜アナログ＞
　　スピーカー× 1 系統、20W/4 Ω
　　　適合インピーダンス 4 Ω～ 16 Ω
　　ヘッドホン (× 1)
　　　適合インピーダンス 16 Ω～ 1kΩ

チューナー部

受信周波数
　FM:　76.0MHz ～ 90.0MHz
　　　（0.1 MHz ステップ）
　AM:　531kHz ～ 1,629kHz（9kHz ステップ）
アンテナ　FM:　75 Ω不平衡型
　　　　　AM:　ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式　3 プログラム動作（ONCE/WEEKLY 切換可能）
おやすみタイマー　10、20、30、60、90、120、150 分、180 分（オートディマー機能）
時刻表示　24 時間表示

CD プレーヤー部

形式　コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数
　44.1 kHz
チャンネル数　2 チャンネル・ステレオ

MD レコーダー部

形式　ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式　磁界変調オーバーライト方式
録音 / 再生時間（MD80 使用）
　　録音モード（MDLP）SP　:80 分
　　録音モード（MDLP）LP2　:160 分
　　録音モード（MDLP）LP4　:320 分
サンプリング周波数
　44.1kHz
音声圧縮方式　ATRAC/ATRAC3(MDLP) 方式
チャンネル数　2 チャンネル・ステレオ

USB 部

USB 端子　USB Ver. 1.1
形式　USB マスストレージクラス規格
ファイルシステム　FAT/FAT32
　（NTFS には対応していません）
音声圧縮再生方式　MP3、WMA、WAV
音声圧縮録音方式　MP3、WMA
USB 出力電源　DC 5 V ⎓ 500 mA

カセットデッキ部

形式　コンパクトカセットステレオ
録音方式　交流バイアス
消去方式　交流消去
ヘッド　消去ヘッド（2 ギャップフェライトコア使用）
　録音再生（パーマロイコア使用）のコンビネーションヘッド
早巻き時間　約 145 秒（C-60）

共通部

電源電圧　AC 100V(50Hz/60Hz 共用)
消費電力　電源「入」時：55W
　電源「待機」時：最大 1W
最大外形寸法　幅 165mm × 高さ 230mm × 奥行 327.5mm
質量　約 5kg

■ スピーカー（SP-UXZ2-B/SP-UXZ2-S）：1 本当たり

形式　3 ウェイバスレフ型
使用スピーカー
　低音用：　11cm コーンスピーカー× 1
　中音用：　4cm コーンスピーカー× 1
　高音用：　1.5cm ドームスピーカー× 1
最大入力　20W（JIS）
定格インピーダンス
　4 Ω
再生周波数帯域　56Hz ～ 40kHz
出力音圧レベル　83dB/W・m
最大外形寸法　幅 140mm × 高さ 231mm × 奥行 202mm
質量　約 2.1kg

■ マイクロコンポーネント MD システム（UX-Z2-B/UX-Z2-S）

総　合

最大外形寸法　幅 445mm × 高さ 231mm × 奥行 327.5mm
質量　約 9.2kg

• 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

索引

英数字

AHB PRO 14
ALL ERASE 43
AM ループアンテナ 7
BASS 14
BLANK DISC 57
CD-R/RW 18
CD を聞く 18
DEMO .... 表紙、9
DISC FULL 29
DISC PROTECTED 57
DIVIDE 41
DIVIDE GR 45
DRM 18
EDITING .... 40、41、44、48
ENTRY GR 45
ERASE .... 43、50
ERASE GR .... 47、51
FM 簡易型アンテナ 7
FM モード 16
FORMAT 51
FORM GR .... 44、49
GR .... 30、32
GR TITLE 49
HCMS 55
HQ .... 34、36
JOIN 42
JOIN GR 46
LOCKED 15
LP2 .... 30、32
LP4 .... 30、32
MDLP 29
MD に入力できる文字数 40
MD に録音する 29
MD の制約 55
MD を聞く 18
MEMORY FULL .... 43、50
MONO 16
MOVE .... 42、50
MOVE GR 46
MP3 18
SCMS 55
SP .... 30、32、34、36
STEREO 16
TITLE 48
TREBLE 14
UNGR ALL 47
UNGROUP 47
USB 18
USB ENCODE .... 34、36
USB 機器に録音する 33
WAV 18
WMA 18
WRITING .... 29、40、41、44、48
1曲録音 .... 31、35、38

ア

インピーダンス 8
ウェイクアップボリューム機能 53
オートスタンバイ 52
オートディマー 52
オートプリセット 17
往復再生 27
往復録音 37
おやすみタイマー 52
音量を調節する 12

カ

グループ再生 22
グループスキップ 21
グループランダム 24
グループ録音 .... 30、32

サ

再生タイマー 53
再生できるディスク 18
サウンドシンクロ録音 .... 32、36
サウンドモード 14
消音 12
スピーカー 8
スリープ 52
接続 7
全曲録音 .... 31、35、38

タ

タイトルサーチ 25
チャイルドロック 15
テープを聞く 26
ディスク（CD）を聞く 18
ディマー 15
デモ表示 9
時計 13
トラックマーク .... 32、36

ハ

ファイル数・フォルダ数の制約 18
プログラム再生 22
プログラム録音 .... 31、35、38

ラ

ラジオを聞く 16
ランダム再生 24
リバースモード 27
リピート再生 22
録音 .... 29、33、37
録音タイマー 53

別売りのオプション品

- ステレオミニプラグコード　：CN-203A
- アンテナコネクター　：VZ-71A（300 Ω /75 Ω対応）
- アンテナコード　：VX-22A
- FM フィーダーアンテナ　：CN-511A（300 Ω対応）
  （アンテナコネクター：VZ-71A と一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
61 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**0120 − 2828 − 17** 携帯電話・PHS・FAX などからのご利用は **電話（045）450 − 8950** **FAX（045）450 − 2275** 〒 221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、60 ページをご覧ください。
ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0908YOMMDWJMM